

別売部品

ご要望の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

希望小売価格は2018年10月現在

部品	部品コード	希望小売価格(税抜)	
L型給水ホース(80cm)	301 0 3275 29800	2,800円	
真下排水パイプ 排水口が本体真下中央部にあるときに	301 0 3224 00100	1,200円	
給水延長ホース 付属の給水ホースでは短い場合に	1m	301 0 3275 24900	1,700円
	2m	301 0 3275 25000	2,200円
	3m	301 0 3275 25100	2,600円
排水ホース補修キット(長さ1.34m) 排水ホース、ホースつぎ手、ホース口、ホースバンド、接着剤	S114755	1,700円	
糸くずフィルター(消耗部品)	製品の型番(品番)をご連絡ください。	600円	
給水栓ジョイント CB-J6 水漏れ防止機能付き ※給水栓ジョイントは、蛇口の形状によっては取り付けできないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。	301 0 3470 25000	2,400円	
壁ピタ水栓 CB-L6	301 2 3450 00100	6,500円	

※価格は予告なく改定されることがあります。ご了承ください。

廃棄時にご注意ください

2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

長年ご使用の『洗濯機』の点検を		
愛情点検 	このような症状はありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード、プラグが異常に熱い ● 電源コードに深いキズや変形がある ● 焦げくさいにおいがする ● 運転中に異常な音や振動がする ● 洗濯機に触れるとビリビリ電気を感じる ● その他異常や故障がある
		このような症状のときはご使用を中止し、事故防止のため電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

お客様メモ(後日のために、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	AT-WM45B
販売店名		☎()	—
お客様ご相談窓口		☎()	—

ハイアールジャパンセールス株式会社 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー 7F

amadana は amadana 株式会社の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

549047D(2001)

manual

取扱説明書

automatic washing machine

全自動洗濯機

高濃度洗浄機能搭載

高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引きはがします。

家庭用

AT-WM45B



index

安全上のご注意	01-03
各部の名称とはたらき	04-05
洗濯前の準備	06
洗剤類について	07
洗剤について	08
洗濯のしかた	09-24
各コースについて	09
標準コース	10
自分流コース	11
念入りコース	12
お急ぎコース	13
毛布コース	14-15
風乾燥	16-17
洗濯コース+風乾燥	18
ソフトコース	19
ドライコース	20-21
内容を個別に設定して洗濯したい	22-24
上手なお洗濯	25
予約洗濯	26
知っていると便利	27
お手入れ	28-31
据え付け	32-37
故障かな?と思ったら	38-39
こんな表示が出たら	39
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	40
仕様	40
保証とアフターサービス	41
別売部品	裏表紙

保証書別添

このたびはお買上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは「保証書」とともに大切に保管していただき、
取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

※ 初めて使用するときには排水ホースから水が出る場合があります。これは工場での性能テストによる残水です。

安全上のご注意

- ご使用になる前にこの『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、次にお使いになる場合にすぐ見られるところへ大切に保管してください。

この全自動洗濯機は、よごれた衣服などを洗う目的や衣服などを脱水する目的に使用するものですので、それ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表示について

ここに表示している『安全上のご注意』はあなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。『警告』『注意』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

 **警告** 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示。

 **注意** 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示。

表示の例：お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。

 △ 記号は「警告や注意を促す」内容のもので、図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示します。

 ⊘ 記号はしてはいけない「禁止」内容のもので、図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。

 ● 記号は必ず実行していただく「強制」内容のもので、図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）を示します。

警告



分解禁止

絶対に分解したり修理や改造は行わない。

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」にご相談ください。



接触禁止

回転中の洗濯・脱水槽に手を入れない

洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れないでください。
ゆるい回転でも、洗濯物が手に巻きついてけがをすることがあります。特にお子さまにはご注意ください。



幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない

洗濯機の近くに台などを置かないでください。洗濯・脱水槽の中に幼児が落ちてけがをしたり、おぼれたりすることがあります。



水ぬれ禁止

本体各部に直接水をかけない

ショート・感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

風雨にさらされるとところに据え付けない

風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けないでください。感電・火災・故障・変形のおそれがあります。



浴室での使用禁止

浴室・シャワー室などに据え付けない

感電・火災・故障・変形のおそれがあります。



火気禁止

火気を近づけない

火気を近づけたり、火のついたロウソク・たばこ・蚊取り線香・熱いやかんなどを置かないでください。
火災や変形の原因になります。



引火物を洗濯・脱水槽に入れない

洗濯・脱水槽には、絶対に灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物を入れたり近づけたりしないでください。爆発や火災のおそれがあります。



アース

アースを確実に行う

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。



定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



交流100V以外では使用しない

火災の原因になります。



電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。



プラグを抜く



電源プラグを本体で押し付けない

傷つき、過熱発火のおそれがあります。



電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く

火災の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

接触不良による感電・火災の原因になります。

注意



洗濯機の上にのぼったり重いものを載せない

変形・破損によりけがをすることがあります。



洗濯時に50℃以上のお湯を使用しない

プラスチック部品の変形や傷みによる感電や漏電の原因になります。



接触禁止

運転中は洗濯機の下に手や足を入れない

回転部があるためけがをすることがあります。



洗濯前は必ず水栓を開いて給水ホースの接続を確認する

ネジがゆるんだりしていると水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。



電源プラグを抜くときはコードを持たずにプラグを持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



プラグを抜く

長期間ご使用にならない場合は安全のため電源プラグをコンセントより抜く

ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。



防水性のマット・シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない

洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機・かべ・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。
洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。
(足拭きマットなどかたくて厚いもの、雨ガッパ、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、スキーウェア、自転車・バイク・自動車カバー、寝袋など)

脱水時のご注意

普通の洗濯ものを脱水した場合

A 洗濯物の水は洗濯・脱水槽の穴から抜けます。

洗濯・脱水槽の穴



A

普通の洗濯物

B

防水性の衣類や
繊維製品

防水性の衣類や繊維製品を脱水した場合

B 洗濯・脱水槽が回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が片寄って大振動を引き起こします。

C 洗濯・脱水槽が高速回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が上に移動して大振動とともに飛び出ます。

使用上のお願い

本体（特にふたや操作パネル部）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。

印字のはがれ、樹脂の傷みや金属の腐食、誤動作の原因になります。
特に濃縮液体洗剤が樹脂部に付くと樹脂が割れるおそれがありますので、ご注意ください。

ご使用後は必ず水栓を閉めてください。

万一の水漏れを防止するためです。

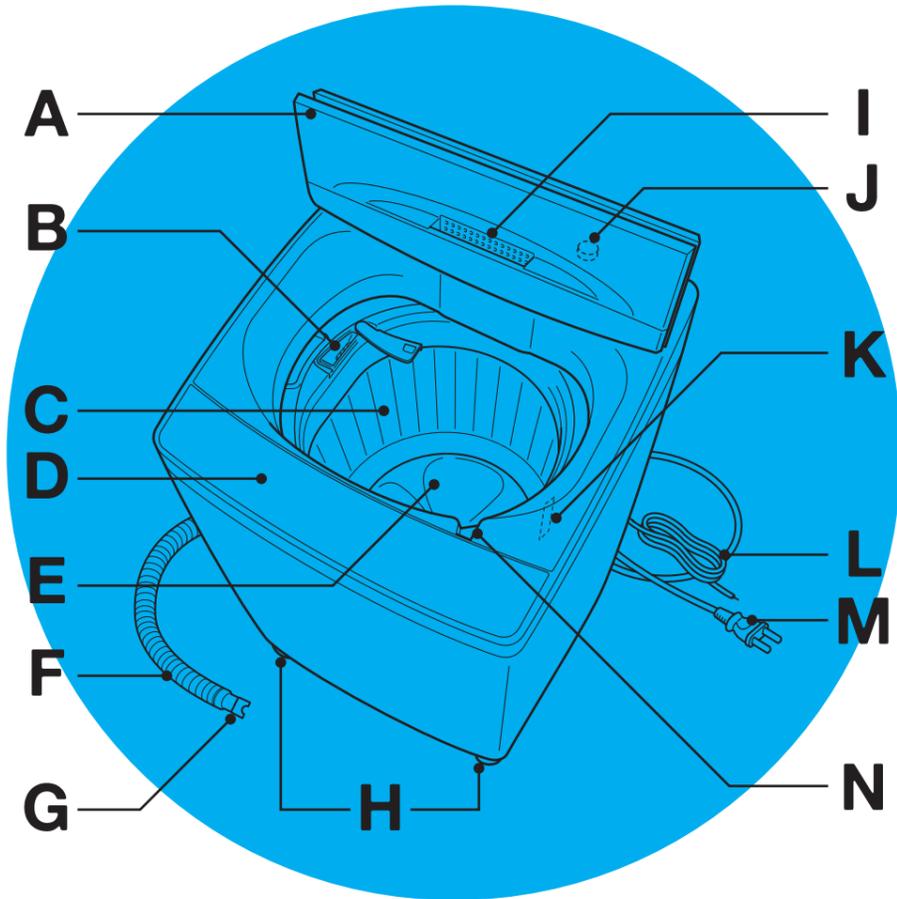
すすぎ、脱水中にふたがロックされない場合や、脱水中にふたロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

けがの原因になります。

雷が鳴り出したら洗濯機やコンセントには触らないでください。

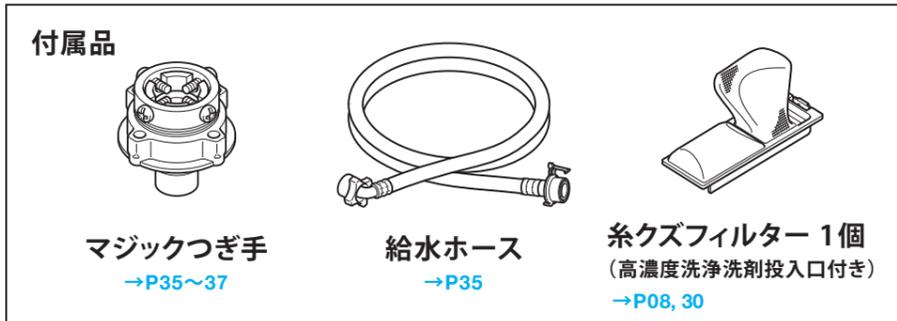
感電するおそれがあります。

各部の名称とはたらき



- A ふた**
運転中は必ず閉めてください。
- B 柔軟剤投入口** →P08
- C 洗濯・脱水槽**
- D 操作パネル部**
操作パネル部には、傷付き防止用の保護シートを貼り付けて出荷しています。はがしてからご使用ください。
- E パルセーター**
- F 排水ホース** →P33-34
- G 排水スリーブ** →P33

- H 高さ調整脚 (前脚2ヶ所)** →P32
- I 通気口**
- J 給水口** →P30
- K 糸くずフィルター (洗剤投入口付き)**
→P08, 30
- L アース線**
アースは必ず行ってください。→P32
- M 電源プラグ**
- N ふたロック部** →P27

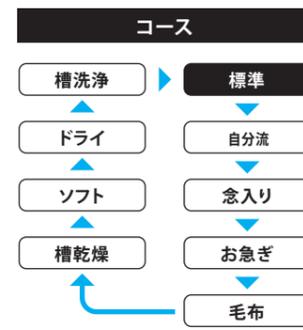


コースボタン

●コースの切り換えをします。

コースランプ

●選択されているコースをランプの点灯でお知らせします。



水量ボタン

●水量の切り換えをします。→P07

●「洗い」「すすぎ」の運転中にボタンを押すと、押している間水を追加することができます。(水を追加しても水量ランプは変わりません。押している間でも満水になると注水が止まります。)

標準コースの場合、運転を開始して給水が完了したあと、約1分間程度表示窓に“—”と表示していますが、その間は水量ボタンを押しても給水しません。

水量ランプ

●選択されている水量をランプの点灯でお知らせします。
●標準コースの自動運転時の水量は、無段階に自動設定され、最も近い水量が点灯します。



残り時間/予約時間/内容表示

残り時間

●コース・行程の選択中と運転中は、洗濯終了までの残り時間(分)を表示します。(99分を超える場合は、2H、3Hと表示されます。)

●『標準』コースの布量検知中は“—”と表示されます。

風乾燥時間

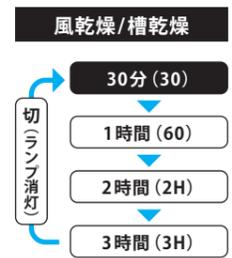
●風乾燥ランプ点灯時は、風乾燥の設定時間を表示します。

予約時間

●予約タイマー運転中は、洗濯終了予定までの時間を表示します。

内容表示

●エラーの内容を表示します。



予約タイマー / 風乾燥ボタン

●予約タイマー運転または風乾燥の追加と時間の設定をします。(3秒間押し続けると、予約設定と風乾燥設定を切り換えることができます。)

●予約タイマー運転は1時間単位で、2～24時間後までの設定ができます。→P26

●風乾燥は30分、1時間、2時間、3時間の設定ができます。→P18, 22-24

風乾燥/槽乾燥ランプ

●風乾燥が追加されているとき、または槽乾燥コースが選択されているときに点灯します。→P18, 22-24, 27

洗い・すすぎ・脱水ボタン

●各行程の設定をします。→P22-24

●選択されている行程をランプの点滅で、進行中の行程をランプの点灯でお知らせします。

洗い

●5分、10分、15分、つけおき (P.25参照) の設定ができます。

すすぎ

0～3回のためすすぎと注水すすぎ (P.25参照) の設定ができます。
すすぎ1回の設定は、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤を使用される際のコースとなります。それ以外の用途での使用はおすすめしません。

脱水

3分、5分、7分、しわケア (P.25参照) の設定ができます。

チャイルドロックランプ

●チャイルドロック設定もしくは動作中にランプが点灯します。

→P27

スタート/一時停止ボタン

●運転を開始します。

●運転中に押すと一時停止します。もう一度押すと一時停止したところから運転を再開します。

●5秒間押し続けて運転を開始させると終了音を消すことができます。

→P27

一時停止/ふたロックランプ

●一時停止中に、一時停止ランプが点灯します。

●ふたがロックされているときに、ふたロックランプが点灯します。

→P27

電源ボタン

●電源を入/切します。

オートOFF機能

●洗濯終了後、自動的に電源が切れます。

●スタートせずに約5分経過すると、自動的に電源が切れます。

※図はイメージです。製品とは、若干異なることがあります。

洗濯前の準備

洗濯機の準備

1 排水ホースを排水口に差し込む

●据え付け時や初めて使用するときに排水ホースから水が出る場合がありますが、これは工場での性能テストの残水で故障や不良ではありません。→P33-34

2 給水ホースをつなぐ

●水栓を開いて、マジックつぎ手や給水ホースの接続部より水漏れがないか確認してください。→P35-37

水栓から水が漏れる場合は

水栓のゴムパッキンが劣化している場合に水栓から水が漏れることがあります。

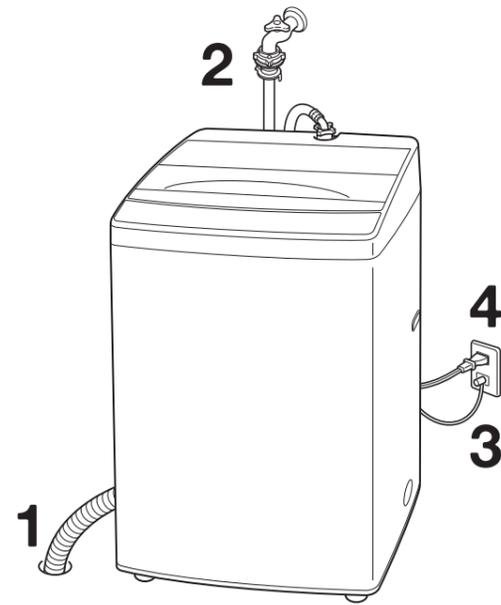
万一水漏れする場合は水栓器具の販売店にご相談ください。



3 アースを取り付ける →P32

4 電源プラグをコンセントに差し込む

●電源プラグは根本まで確実に差し込んでください。



衣類の準備

ポケットに所持品が入っていないか確かめる

●鍵やコインなどが入っていると衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。必ず取り出してください。

衣類の絵表示に従って洗う

色物と白物、厚物と薄物を分けて洗う

大きく軽い洗濯物は少しずつ洗濯する

●サイズが大きく軽い洗濯物は水に浮きやすく、一度にたくさん洗うと給水時に水が飛び散って床をぬらしたり、脱水時にはみ出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

毛玉や糸くずの出るものは裏返しにする



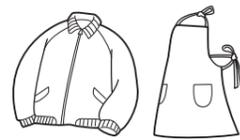
ほこりやどろ、砂などがついた服は前もってはたき落とす

●衣類にどろなどがついたままですと洗濯機の故障の原因になります。



エプロンなどのひもは結び、ファスナーは閉める

●衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。



傷みやすい衣類は洗濯ネットに入れる

●レースのついた傷みやすい衣類（ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊の薄物など）は市販の洗濯ネットに入れてください。
●ワイヤー入りのブラジャーは必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れてください。ワイヤーが飛び出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

衣類の入れかた

水に浮きやすいものやかさばるものから先に入れてください。

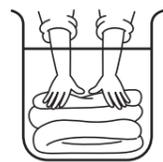
洗濯物が浮いてきたら一時停止して洗濯液に押し込み、水を十分含ませてください。

●カーテンなどの大物、ジーンズ、柔道着など厚手の衣類

●水に浮きやすいもの（細かい網目の洗濯ネットに入れたもの、フリースなど化繊100%あるいは混紡衣類）

●洗濯物を入れすぎないでください。

（給水時に水が飛び散り床がぬれる、汚れがよく落ちない、脱水時にはみ出して衣類や本体が破損するため）



洗剤類について

洗濯量（目安）	水量	コンパクト洗剤		粉石けんなど	液体洗剤	柔軟剤
		水30Lに対して20gのタイプ	水30Lに対して15gのタイプ	水30Lに対して40gのタイプ	水30Lに対して40mlのタイプ	水30Lに対して10mlのタイプ
2.5kg～4.5kgまで	39L	約26g	約20g	約52g	約52ml	約13ml
	33L	約22g	約17g	約44g	約44ml	約11ml
1.5kg～2.5kgまで	26L	約17g	約13g	約35g	約35ml	約9ml
0.5kg～1.5kgまで	19L	約13g	約10g	約25g	約25ml	約6ml
0.5kg以下	12L	約8g	約6g	約16g	約16ml	約4ml

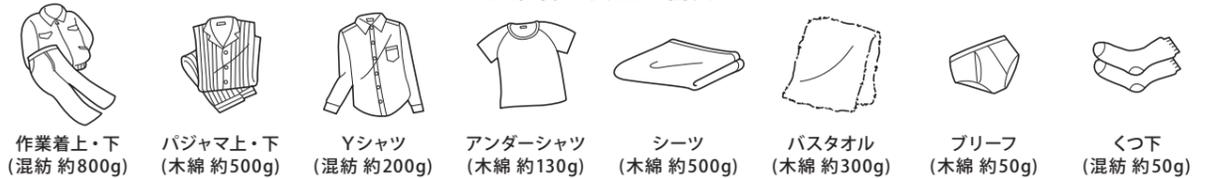
家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量（水30Lに対し〇〇g）が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

●洗剤の分量は上の表を参考にしてください。必要な洗剤量は洗剤メーカーや銘柄によって異なります。製品の水量表示に合わせて洗剤量を計算してご使用ください。汚れが多い場合は洗剤量を調整してください。

●洗剤は入れ過ぎないようにしてください。すすぎ不十分になり衣類に残ったり変色の原因になります。特に軽い汚れのときは液体洗剤では泡が多くなりますので、洗剤を入れ過ぎないようにご注意ください。（軽い汚れとは汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。）

●一度に洗う量は規格以下の容量にしてください。本機の最大容量は、4.5kgです。洗濯物の量が多いときは無理をせず何回かに分けて洗ってください。

洗濯物の質量の目安



※洗濯容量はJIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のもので、洗濯物の厚さ、大きさ、種類により洗える量が変わります。

粉石けんを使うには 溶け残りを防ぐため、粉石けんはあらかじめよく溶かしてからお使いください。

洗濯機で直接溶かす場合

- 1 電源を入れ水量12Lに設定し、スタート/一時停止ボタンを押して運転（給水）する
- 2 給水が終わったら一時停止して、粉石けんを入れる
- 3 約1分程度運転したら運転を停止し、電源を入れ直す
- 4 洗濯物を入れ、コースを選択し、スタートボタンを押す
- 5 ふたを閉め、洗濯する

溶けにくい場合

- 1 バケツに30℃前後のぬるま湯を約5L用意する
- 2 よくかき回しながら粉石けんを少しずつ入れる
- 3 洗濯物を入れ、コースを選択する
- 4 スタートボタンを押す、ふたを閉める
- 5 給水が始まったら一時停止して、溶かした粉石けんを入れる
- 6 スタート/一時停止ボタンを押して運転を再開する



❗ 粉石けんを使用した場合は十分にすすぎを行ってください。

粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみやにおいの原因になります。

❗ 粉石けんは入れすぎないようにご注意ください。

粉石けんの使用量が多すぎたり水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯・脱水槽に付着したあとにはがれて浮き上がり、洗濯物を汚すことがあります。

🚫 予約タイマー運転には粉石けんを使用しないでください。

固まるおそれがあります。

洗剤について

洗剤 粉末洗剤

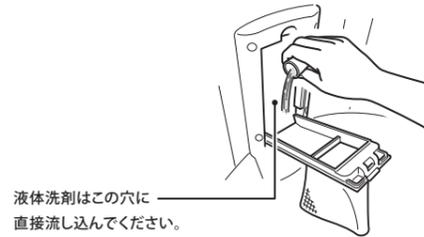
糸くずフィルターの洗剤投入口に入れる

洗剤を入れたあとは必ず糸くずフィルターを閉じてください。
洗剤投入口がぬれている場合はよく拭いてから洗剤を入れてください。
粉石けんは洗剤投入口に入れないでください。→P07



液体洗剤

洗剤投入口の奥の穴に流し込む



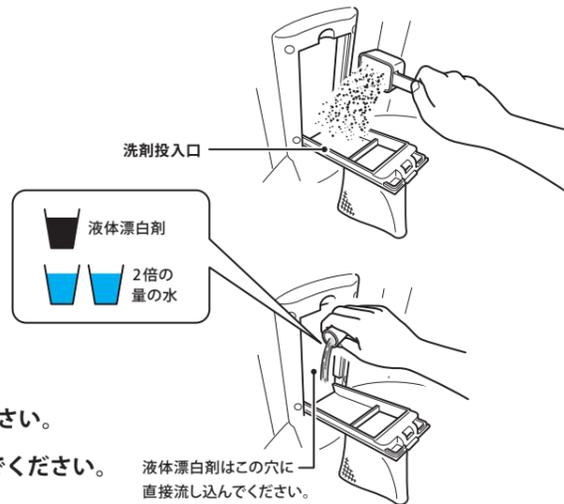
液体洗剤はこの穴に直接流し込んでください。

漂白剤 粉末漂白剤

糸くずフィルターの洗剤投入口に入れる

液体漂白剤

水で薄め洗剤投入口の奥の穴に流し込む
2倍の量の水で薄めて流し込んでください。



❗ 色物には色物専用の漂白剤を使用してください。

⊘ 塩素系の漂白剤は直接洗濯物にかけないでください。
変色など洗濯物を傷める原因になります。

液体漂白剤はこの穴に直接流し込んでください。

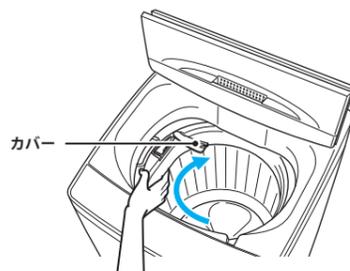
柔軟剤 柔軟剤投入口に少しずつ流し込む

柔軟剤は、最後のすすぎのときに自動的に投入されます。
「洗い」「すすぎ」の脱水中に一時停止はしないでください。柔軟剤の投入時期が早まり、有効に働きません。
柔軟剤を長時間(約12時間以上)入れたままにしないでください。固まってしまうことがあります。
濃縮タイプは固まるおそれがあるため2倍の量に薄めてからご使用ください。



カバーを開いて、柔軟剤を入れます。

※カバーは柔軟剤投入後は必ず閉めてください(カチッと音がするもしくはクリック感を感じるまで)。カバーが開いていると衣服の破損や機器の破損の原因となる場合があります。



洗濯のしかた

各コースについて

コース	洗濯容量	おすすめの洗濯物の種類や用途
標準	～4.5kg	ふだんの洗濯に →P10
自分流	～4.5kg	自分で設定した内容を記憶させて使いたいときに →P11
念入り	～2.5kg	ジーンズなどの厚手の衣類を洗うときに →P12
お急ぎ	～1.5kg	汚れの少ないものを、手早く洗いたいときに →P13
毛布	P14参照	毛布など大物を洗うときに →P14
槽乾燥	～2.0kg	黒カビ発生の抑制に →P28
ソフト	～2.5kg	大切(デリケート)な衣類などを洗うときに →P19
ドライ	～1.0kg	ドライマーク衣類などを洗うときに →P20
槽洗浄	—	洗濯・脱水槽の定期的なお手入れに →P29

コースの行程と洗濯時間の目安(初期設定)

コース	水量	洗い	脱水	脱水	所要時間
標準	19～39L 無段階自動設定	10～15分 の自動設定	シャワーすすぎ1回 + ためすぎ1回	6分	32～37分
自分流	26L	15分	ためすぎ1回	6分	32分
念入り	26L	20分	ためすぎ2回	7分	94分
お急ぎ	19L	4分	ためすぎ1回	2分	10分
毛布	39L	12分	ためすぎ2回	6分	48分
槽乾燥	—	—	—	30分	30分
ソフト	26L	3分	ためすぎ2回	4分	26分
ドライ	39L	4分	ためすぎ2回	3分	27分
槽洗浄	39L	11時間	注水すすぎ1回	32分	12時間

● 所要時間は水道水圧・排水条件により変わります。表は給水量が毎分15Lのときの目安です。● 洗濯・脱水槽にあらかじめ水があるときや、水量の設定を変更したときは所要時間が変わる場合があります。● 念入りコースは初期設定に「つけおき」行程が入っているため、所要時間が長くなっています。● 自分流コース(工場出荷時の設定)とお急ぎコースはすすぎ1回設定のため、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤をご使用ください。

布量検知(ファジープログラム)

『標準』コースを選択した場合は運転開始後にファジープログラムが作動し、布量を自動検知して「水量」「洗い時間」を自動設定します。

※『標準』コースで予約洗濯を行う場合、布量検知は行いません。布量に合わせて「水量」を設定してください。→P10, 26



● 『標準』コース自動運転時の水量は無段階に自動設定されます。

● 洗濯・脱水槽に水が入っている場合は布量を検知できません。この場合水量は「26L」と表示されます。洗濯量に応じた水量を設定してください。→P07

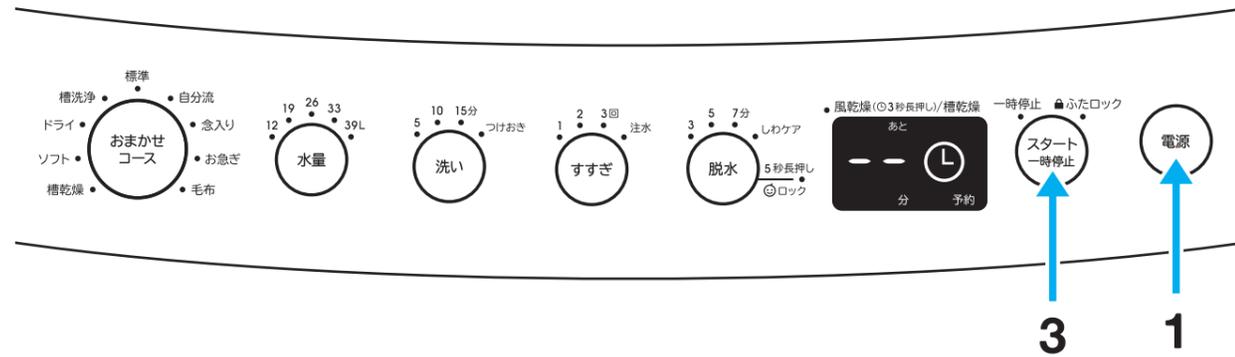
● ぬれている洗濯物を入れた場合は、水量が高く設定されることがあります。洗濯物に応じた水量を設定してください。→P07

● 水量の変更は、水量・洗い時間の自動設定が完了して残り時間が表示されたあとに一時停止ボタンを押して一時停止すれば可能です。残り時間が「—」と表示されているときは自動設定が完了していませんので、設定ができません。

洗濯のしかた つづき

標準コース

洗濯容量 4.5kgまで



1 水栓を開き **電源** を押す

2 ふたを開け洗濯物を入れる

3 **スタート一時停止** を押す

- 布量を自動検知して、水量を表示します。
- 洗濯機に水が入っている場合は、水量は26Lに設定されます。

※『標準』コースで予約洗濯を行う場合、布量検知は行いません。布量に合わせて「水量」を設定してください。→P26

4 水量が表示されたら
洗剤投入口に洗剤を入れる →P08



5 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08

6 ふたを閉める (洗濯開始)

- 注水を開始します。
- 注水が完了すると、残り時間を表示します。
- 水量を多くしたい場合は水量ボタンでより多い水量を選択できます。

※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

7 運転終了

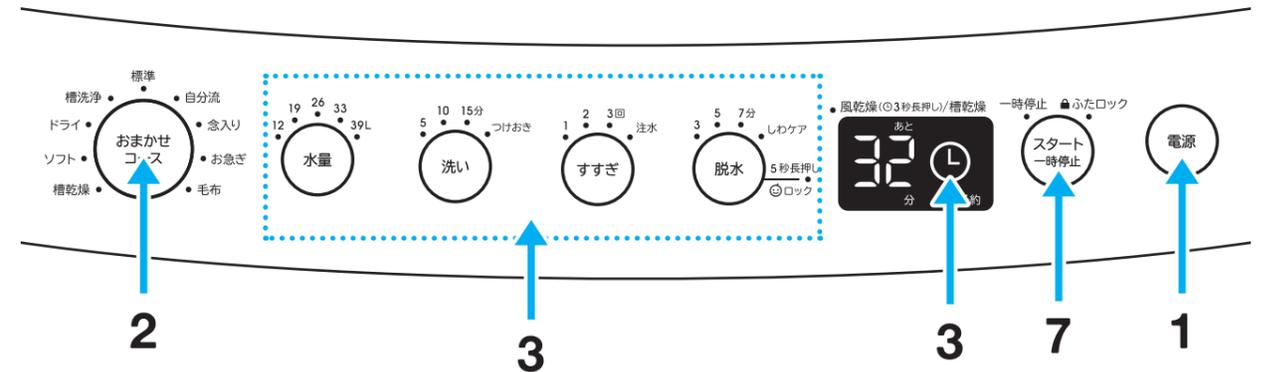
- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

! 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。
万一の水漏れを防止するためです。

! 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

自分流コース

洗濯容量 4.5kgまで



1 水栓を開き **電源** を押す

2 **おまかせコース** を押して『自分流』を選ぶ

3 **水量** **洗い** **すすぎ** **脱水** **スタート一時停止** を押して、
内容・時間を設定する

- 設定してある場合は、手順3は必要ありません。

4 ふたを開け洗剤投入口に洗剤を入れる
→P08

- 工場出荷時の本コース (すすぎ1回設定) は、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤を使用される際のコースとなります。
- すすぎ1回以外の設定をされた場合は、粉末洗剤を使用できます。

5 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08

6 洗濯物を入れる

7 ふたを閉め **スタート一時停止** を押す

- 設定内容を記憶し、運転を開始します。
- 注水を始め、運転を開始します。

※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

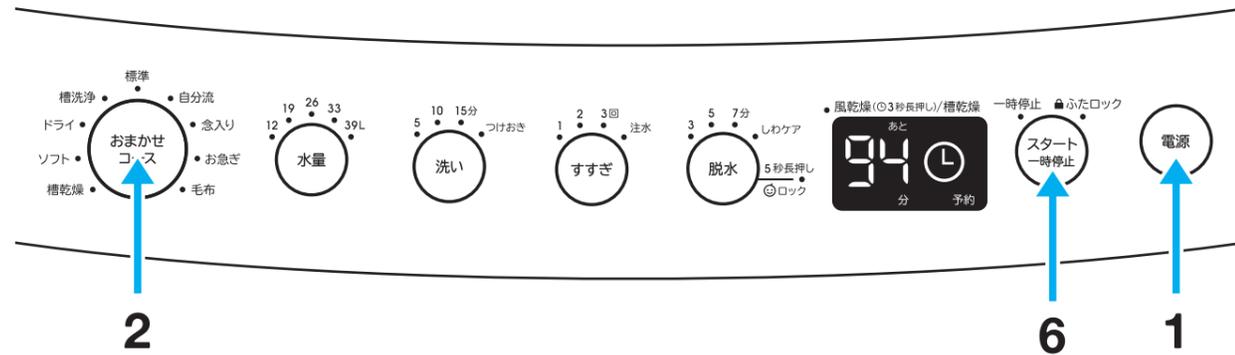
! 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。
万一の水漏れを防止するためです。

! 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

洗濯のしかた つづき

念入りコース

洗濯容量 2.5kgまで



1 水栓を開き **電源** を押す

2 **おまかせコース** を押して『念入り』を選ぶ

3 ふたを開け洗剤投入口に洗剤を入れる
→P08



4 柔軟剤を使う場合は柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

● 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08

5 洗濯物を入れる

※ 布量は2.5kg以下です。水量を変更する場合は、洗剤量も変更してください。(水量初期設定26L)

6 ふたを閉め **スタート一時停止** を押す

● 注水を始め、運転を開始します。

※ ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

7 運転終了

● 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

❗ 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。

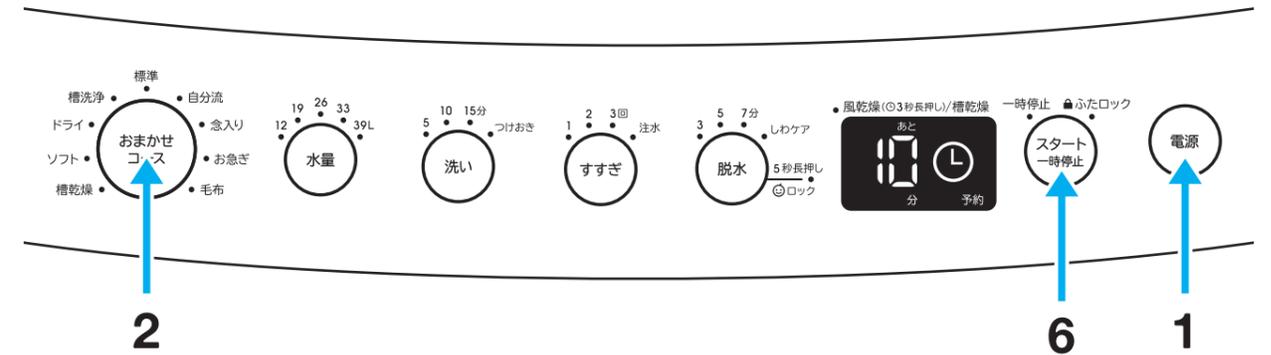
万一の水漏れを防止するためです。

❗ 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

お急ぎコース

洗濯容量 1.5kgまで

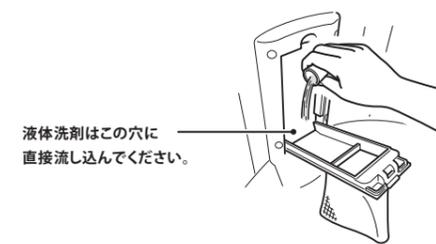


1 水栓を開き **電源** を押す

2 **おまかせコース** を押して『お急ぎ』を選ぶ

3 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴にすすぎ1回の設定を推奨されている洗剤を入れる →P08

● 本コース(すすぎ1回設定)は、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤を使用される際のコースとなります。



4 柔軟剤を使う場合は柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

● 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08

5 洗濯物を入れる

※ 布量は1.5kg以下です。水量を変更する場合は、洗剤量も変更してください。(水量初期設定19L)

6 ふたを閉め **スタート一時停止** を押す

● 注水を始め、運転を開始します。

※ ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

7 運転終了

● 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

❗ 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。

万一の水漏れを防止するためです。

❗ 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

洗濯のしかた つづき

毛布コース (毛布、夏掛けふとん、シーツ、カーテンなど大物を洗うことができます。)

マイヤー・タフト毛布：2.1kgまで
綿毛布：1.5kg以下のもの2枚まで

洗濯できる毛布

 表示のある
綿毛布およびアクリル、または
ポリエステル100%のマイヤー・タフト毛布

綿毛布
大きさ……140cm×200cm以下
質量……1.5kg以下のもの2枚

マイヤー・タフト毛布
大きさ……140cm×200cm以下
質量……2.1kg以下のもの

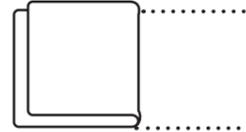
 電気毛布は洗わないでください。
洗える電気毛布については電気毛布の取扱説明書に従ってください。

準備

洗濯物や洗濯機を傷めないために正しく準備してください。

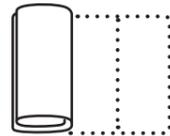
1

長い方を2つ折りにする
綿毛布を2枚以上入れる場合は
重ねて折りたたんでください。



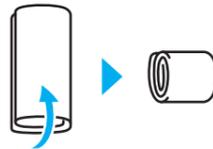
2

さらに同じ方向に
3つ折りにする



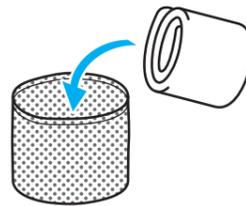
3

巻く



4

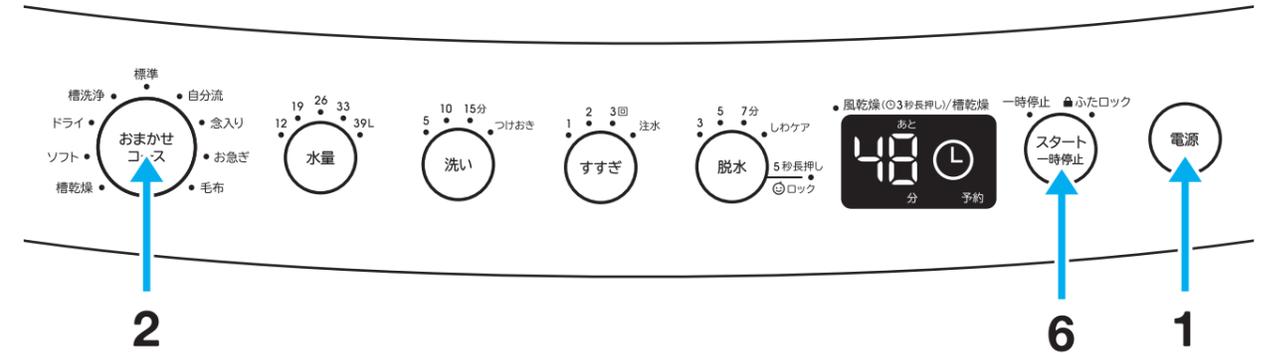
フチのある方を下にして
洗濯ネット (市販品) に入れる



5

洗濯ネットのひもを固く
結びリボン結びにする

リボン部は洗濯ネットと毛布の
間にはさみ込んでください。



1 水栓を開き  を押す

2  を押して『毛布』を選ぶ

3 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴に
液体洗剤を入れる →P08

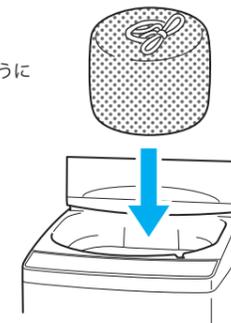
● 洗剤は入れすぎないようにしましょう。入れすぎると泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。また、洗剤は溶けやすい液体洗剤をお勧めします。

4 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

● 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08

5 準備した毛布を入れる

● 洗濯ネットの口側が上になるように洗濯・脱水槽に入れてください。



6 ふたを閉め  を押す

● 注水を始め、運転を開始します。

※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

7 運転終了

● 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。
● 必ず糸くずフィルターを掃除してください。

 毛布やシーツなど大物を洗う場合は必ず市販のネットに入れてください。また、毛足の長さや生地の厚みによりネットに入らない場合は洗濯できません。

ネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯・脱水槽から飛び出したり、脱水中に異常振動し洗濯機・壁・床などの破損、衣類の損傷などの原因になります。

 毛布洗いのポイント

- 毛布のフチなど汚れのひどい部分はあらかじめ手でもみ洗いをしましょう。
- 洗剤を入れすぎないようにしましょう。
- 水温が低いときはぬるま湯 (約30℃) で洗うと汚れ落ちがよくなります。

洗濯のしかた つづき

風乾燥

(化繊) 2.0kgまで

「風乾燥」とは、ヒーターを使わず脱水槽を高速回転させ、遠心力と通風口から取り込んだ空気で衣類の水分を飛ばす機能です。室内干しなどの乾燥時間を短縮することができるので、夜干して朝乾くなど便利にお使いいただけます。また、途中で洗濯物をほぐすためにかくはんを行います。



※風乾燥を設定した場合、予約洗濯はできません。

室内干しなどの乾燥時間の短縮

- ジメジメ時間が短いため部屋干し特有のイヤな臭いを抑えられます。
- 化繊2.0kg以下なら約3時間でほぼ乾燥できます。

普通の洗濯



風乾燥した場合

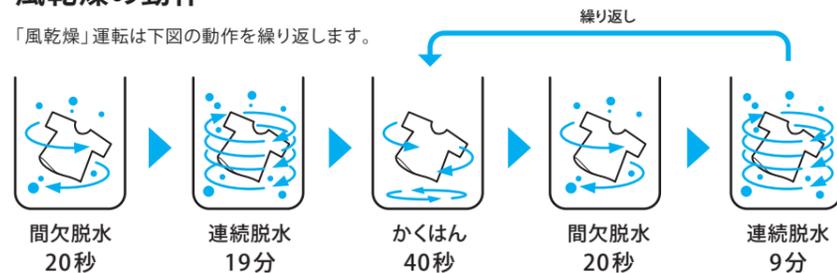


標準コース

- ▶ 梅雨時などの乾きにくいときに
- ▶ 夜しか洗濯できないときに
- ▶ 干し時間が短いため紫外線による衣類のダメージも少ない

風乾燥の動作

「風乾燥」運転は下図の動作を繰り返します。



熱に弱いデリケートな衣類の脱水

熱を使わずに乾かすため下着や水着、化繊のブラウスなど熱に弱い衣類も安心です。

- ▶ 下着や水着など外に干したくないときに

洗濯槽の黒カビ抑制

日常のお洗濯後に「風乾燥」を利用すると槽内も乾燥でき、黒カビの発生を抑えます。(洗濯物を取り出したあとに30分風乾燥がおすすめです。)

●タイマー式脱水なので乾きぐあいに関係なく終了します。衣類の量・種類・気温・湿度・季節・据え付け場所により乾きぐあいが異なることがあります。

●風乾燥の通気口はふたの取っ手部にあります。ふたの上にもものを置くと乾きぐあいが異なることがあります。

注意

- ⊘ マット類は脱水しない
マットが洗濯・脱水槽に付着したり衣類を汚すことがあります。また、素材によっては化学変化により自然発火するおそれがあります。
- ⊘ 防水性のマット・シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない
洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機・かべ・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。(足拭きマットなどがたくたく厚いもの、雨ガッパ、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、スキーウェア、自転車・バイク・自動車カバー、寝袋など)

風乾燥してはいけないもの

色落ちしやすいもの

長時間かけてかくはんするので他の衣類に色が移ります。

型くずれしやすいもの

絹や皮製品などは縮んだり型くずれをおこすことがあります。

しわが気になるもの

ブラウスや綿100%シャツなど

掛け布団、毛布など

洗濯物が傷んだり洗濯機本体の故障の原因になります。

ウールなどの獣毛製品(その混紡製品)

縮む、毛が抜ける、型くずれします。

吊り干し、平干し、ドライなどの絵表示があるものおよび「弱く絞る」などの表記があるもの



防水性のもの

衣類が傷んだり、洗濯機の故障の原因になります。(雨ガッパ、スキーウェアなど)

! 脱水前に衣類の材質表示をよく確認してください。

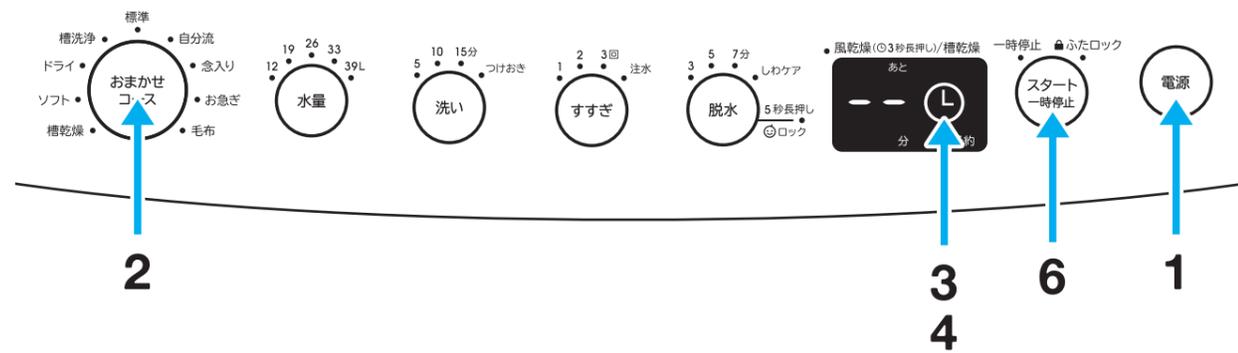
「風乾燥」機能は高速回転の時間が長く、かくはんして布をほぐすため、この欄に記載されている衣類は「風乾燥」に向いていません。

洗濯のしかた つづき

洗濯コース (洗濯・すすぎ・脱水) + 風乾燥

洗濯・脱水容量 2.0kgまで

お洗濯のあとに風乾燥をプラスしたい。



※標準コースを基本に説明します。「自分流」「念入り」「お急ぎ」コースの場合は手順4の次は手順7にお進みください。

- 1 水栓を開き **電源** を押す
- 2 **おまかせコース** を押しお好きなコースを選ぶ
● 風乾燥が追加できるコースは、「標準」「自分流」「念入り」「お急ぎ」コースのみです。
- 3 **時計** を約3秒間押し表示部左上の**風乾燥ランプ**を点灯させる
● 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間の設定ができます。
- 4 風乾燥ランプが点灯したら再度 **時計** を押し**風乾燥の時間**を選ぶ
● 30分 (30)、1時間 (60)、2時間 (2H)、3時間 (3H) の設定ができます。
- 5 ふたを開け洗濯物を入れる
- 6 **スタート一時停止** を押す
● 布量を自動検知して、水量を表示します。
- 7 水量が表示されたら**洗剤投入口に洗剤を入れる** →P08

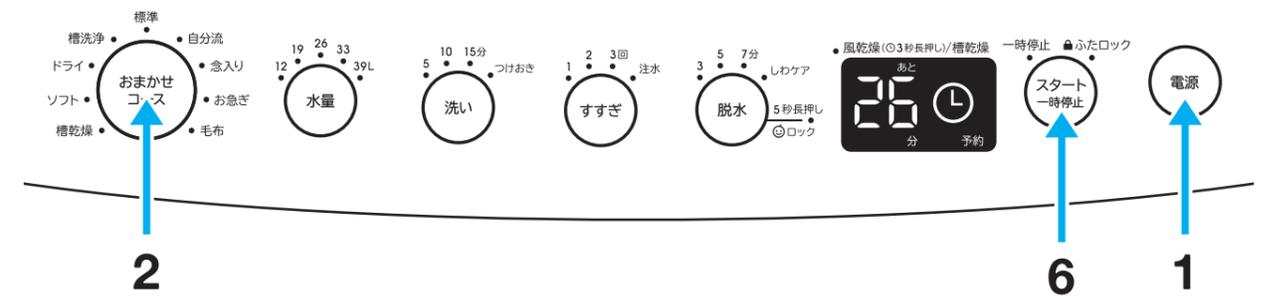
- 8 柔軟剤を使う場合は**柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる**
● 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、**洗濯・脱水槽を右に回して**入れやすい場所に移動させてください。 →P08
- 9 ふたを閉める (洗濯開始)
● 注水を開始します。
● 注水が完了すると、残り時間を表示します。
※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。
- 10 運転終了
● 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

- ❗ 洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
万一の水漏れを防止するためです。
- ❗ 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。
- ❗ 風乾燥は、毛布、ソフト、ドライコースでは**選択できません**。

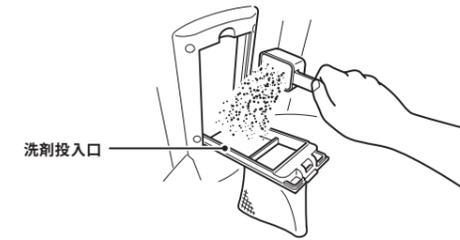
ソフトコース

表示のある衣類は洗えません。

洗濯容量 2.5kgまで



- 1 水栓を開き **電源** を押す
- 2 **おまかせコース** を押し『ソフト』を選ぶ
- 3 ふたを開け洗剤投入口に洗剤を入れる →P08
- 4 柔軟剤を使う場合は**柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる**
● 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、**洗濯・脱水槽を右に回して**入れやすい場所に移動させてください。 →P08
- 5 洗濯物を入れる
※ 布量は2.5kg以下を標準としています。2.5kg以上の洗濯物を入れる場合は、水量と洗剤量を変更してください。(水量初期設定26L)
- 6 ふたを閉め **スタート一時停止** を押す
● 注水を始め、運転を開始します。
※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。
- 7 運転終了
● 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。



- ❗ 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。
万一の水漏れを防止するためです。
- ❗ 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

洗濯のしかた つづき

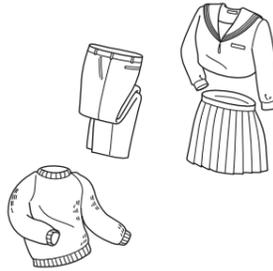
ドライコース (多めの水量でデリケートな衣類やドライマーク衣類をやさしく洗うコースです。)

洗濯容量 1.0kgまで

洗濯できるもの

や (P) 表示のあるもの

- 学生服、セーラー服
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ランジェリー (絹、麻)
- セーター、カーディガン (ウール、アンゴラ、カシミア)

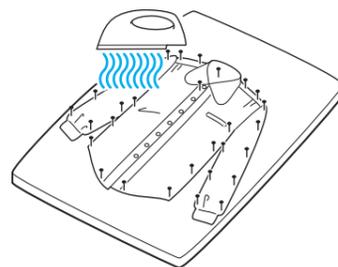


洗濯できないもの

- 皮革製品、皮革装飾のあるもの
- 羽、毛皮などの装飾のあるもの
- 絹、レーヨン、キュプラおよびその混紡品 (裏地として使用しているものも不可)
- スーツ、コート、ネクタイなどの型くずれしやすいもの
- コーティング加工、樹脂加工 (接着剤を使用したもの)、エンボス加工を施したもの
- ちりめんなどの強くよじった糸 (強撚糸) を使用したもの
- ベルベットなどのパイル地、別珍など
- 防水加工品 (スキーウェアなど)
- 色落ちしやすいもの
- 取扱説明書表示および素材表示のないもの

洗濯前の準備

- シミがあるときは裏側にタオルをあて洗剤をつけてタオルなどで軽く押さえます。
- 汚れやすいえり・袖口などは洗剤をつけてブラシなどで軽くたたいて落としておきます。
- ボタンやししゅうの付いている衣類は裏返します。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 色落ちしそうな衣類は、白いタオルなどに洗剤を含ませ、目立たないところに押し当てて確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

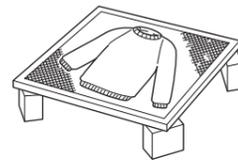


干しかた

※必ず風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ、カシミアなどのセーター

- 形を整えて裏返し、平干しをしてください。



スラックス、スカート

- 形を整えてハンガー干しをしてください。伸びやすいものは平干しをしてください。



学生服、ブラウスなど

- 形を整えてハンガー干しをしてください。
- ハンガーにタオルを巻いて、肩幅にあわせてお使いいただくとうまく干しやすくなります。



! 衣類乾燥機を使用する場合は、おしゃれ着乾燥のできるものをご使用ください。

仕上げかた

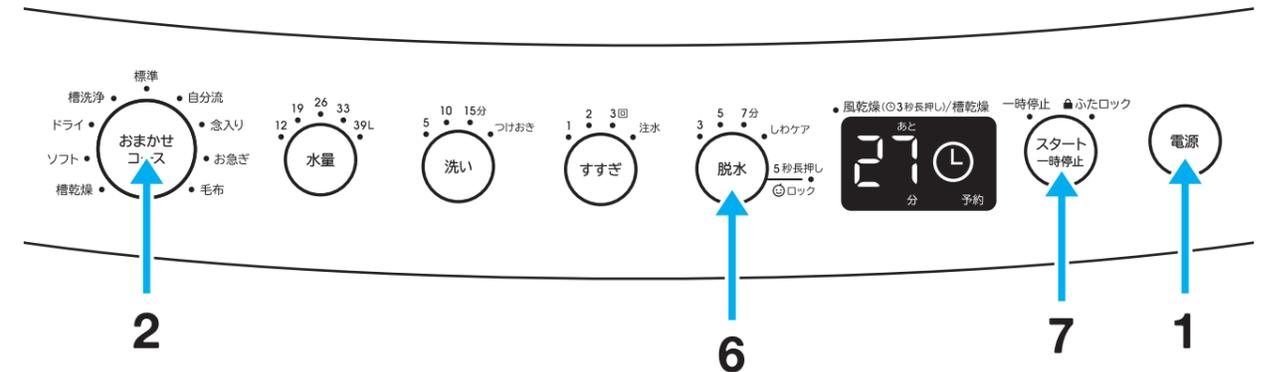
スチームアイロンで形を整える

- スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをかけ、形を整えます。

縮んでしまったときは

- 衣類を伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ち、スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかけ、そのままの状態乾燥させます。

※洗濯前に型紙を取っておくと便利です。



1 水栓を開き を押す

7 ふたを閉め を押す

2 を押して『ドライ』を選ぶ

- 注水を始め、運転を開始します。

※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

3 ふたを開け、洗剤投入口の奥の穴にドライマーク衣類専用の液体洗剤を入れる
→P08

8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。
- 脱水でしわケアを選択した場合に脱水が弱いときは、追加で脱水のみの選択 (P22-24 参照) をして、もう一度しわケア脱水を行ってください。

- (P) 表示の衣類を洗濯する場合は、必ずドライマーク衣類専用の液体洗剤をご使用ください。

4 柔軟剤を使う場合は柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

漂白剤は使用しないでください。
漂白剤は、強アルカリ性のため衣類を傷めます。

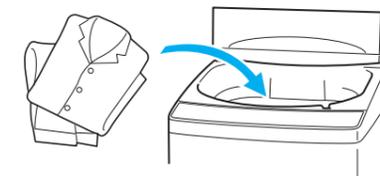
- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08

! 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。
万一の水漏れを防止するためです。

5 洗濯物を入れる

! 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

- 洗濯物はたたんで入れてください。
- 布傷みが気になる場合は市販の目の粗い洗濯ネットに入れてください。



6 を押して脱水設定を選ぶ

洗剤について

(P) 表示の衣類

ドライマーク衣類専用の液体洗剤を使用してください。

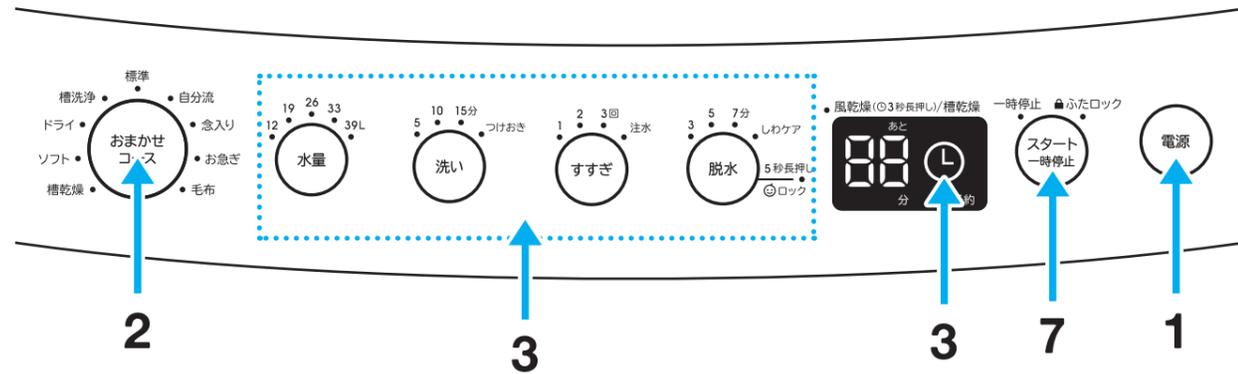
表示のある衣類

ドライマーク衣類専用の液体洗剤以外に液体中性洗剤も使用できます。

- 脱水設定についてはP23-24をご覧ください。

洗濯のしかた つづき

内容を変更して洗濯したい



1 水栓を開き **電源** を押す

2 **おまかせコース** を押してコースを選ぶ

3 **水量** **洗い** **すすぎ** **脱水** を押して
内容・時間を設定する →P23-24

4 ふたを開け洗剤投入口に洗剤を入れる
→P08

- 洗いを行わないすすぎ、脱水運転の場合は洗剤を入れないでください。



5 柔軟剤を使う場合は
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる

- 柔軟剤投入口が入れにくい場所にあるときは、洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。→P08
- 洗いを行わずに柔軟剤だけを使用する運転コースはありません。
- 洗いを行わないすすぎ、脱水運転の場合は柔軟剤を入れないでください。

6 洗濯物を入れる

7 ふたを閉め **スタート一時停止** を押す

- 運転を開始します。

※ふたを閉めない場合は、給水および洗濯動作を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

8 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

! 洗濯終了後は必ず水栓を閉めてください。
万一の水漏れを防止するためです。

! 洗濯終了後できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
長時間放置するとシワになったり縮んだりすることがあります。

水量と各工程の設定可能範囲

× = 設定または変更不可

コース	水量	洗い	すすぎ	注水すすぎ	脱水	風乾燥/槽乾燥
標準	12、19、26、33、39L	0、5、10、15分、つけおき	0～3回	○	0、3、5、7分、しわケア	0、30分、1、2、3時間
自分流	12、19、26、33、39L	0、5、10、15分、つけおき	0～3回	○	0、3、5、7分、しわケア	0、30分、1、2、3時間
念入り	12、19、26、33、39L	0、5、10、15分、つけおき	0～3回	○	0、3、5、7分、しわケア	0、30分、1、2、3時間
お急ぎ	12、19、26、33、39L	0、5、10、15分、つけおき	1回	○	3分	0、30分、1、2、3時間
毛布	39L	15分	2回	×	7分	×
槽乾燥	×	×	×	×	×	30分、1、2、3時間
ソフト	12、19、26、33、39L	0、5、10、15分	0～3回	○	0、3、5、7分、しわケア	×
ドライ	39L	5分	2回	×	0、3、5、7分、しわケア	×
槽洗浄	39L	11時間	1回	×	32分	×

- 設定時間および回数の『0』は設定解除を示します。
- 毛布コース、槽洗浄コースは内容の変更はできません。また、槽洗浄コースで衣類は洗えません。
- 各部の名称の操作パネル部 (P4-5) も合わせてご覧ください。
- お急ぎコースはすすぎ1回設定のため、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤をご使用ください。
- 風乾燥を設定した場合、予約洗濯はできません。

つけおきについて

汚れの多いものを洗い行程前につけおきすることで、洗剤液が衣類にしみ込み洗剤効果を上げます。

※数分おきにパルセーターを回して洗剤液を万遍なく衣類に浸透させます。
※傷みやすい化繊・ウール・絹や色落ちしやすい衣類は使用しないでください。

つけおき時間は、設定された水量によって決まります。(右表参照)
念入りコースのつけおき時間は、水量にかかわらず40分です。

水量	つけおき時間
12L、19L	10分
26L、33L	20分
39L	30分

すすぎについて

0～3回のためすすぎと注水すすぎの設定ができます。
すすぎ1回を設定の際は、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤をご使用ください。

ランプ表示	標準コース	標準コース以外
2	シャワーすすぎ1回+ためすすぎ1回	—
1と2	ためすすぎ2回	ためすすぎ2回
3	シャワーすすぎ1回+ためすすぎ2回	—
1	ためすすぎ1回	ためすすぎ1回
2と注水	ためすすぎ1回+注水すすぎ1回	ためすすぎ1回+注水すすぎ1回
3と注水	ためすすぎ2回+注水すすぎ1回	ためすすぎ2回+注水すすぎ1回
1と注水	注水すすぎ1回	注水すすぎ1回
消灯	すすぎなし	すすぎなし

※標準コースのためすすぎ2回を選択した場合は、すすぎランプ「1」と「2」の2つが点灯します。

▶ 次ページへつづく

洗濯のしかた つづき

内容を変更して洗濯したい つづき

すすぎ、脱水ボタンについて

コース選択後、最初に『すすぎ』または『脱水』ボタンを押すと、その行程より前の行程は自動的に解除され、ランプが消灯します。この場合、消灯している行程を再度設定することで、その行程も運転できるようにになります。

例えば…

- コース選択後、最初に『すすぎ』の設定をし、「洗い」の設定をせずにスタートすると、「すすぎ」「脱水」の運転を行います。
- コース選択後、最初に『すすぎ』の設定をし、消灯している「洗い」の設定をしてからスタートすると、「洗い」「すすぎ」「脱水」の運転を行います。

しわケア脱水について (脱水容量：1kgまで)

脱水モードを「しわケア」にすることで、しわになりやすいブラウスやシャツのアイロンがけが楽になります。

- 脱水でしわケアを選択した場合に脱水が弱いときは、追加で脱水のみの選択をして、もう一度しわケア脱水を行ってください。

洗濯コースに風乾燥を追加する場合

- 洗濯コースに風乾燥を追加する場合は、コース選択後に予約タイマー / 風乾燥ボタンを約3秒間押し表示部左上の風乾燥ランプを点灯させたのち、再度予約タイマー / 風乾燥ボタンで風乾燥の時間を設定してください。
- 30分 (30)、1時間 (60)、2時間 (2H)、3時間 (3H) の設定ができます。

※「毛布」「ドライ」コースでは、風乾燥を追加できません。

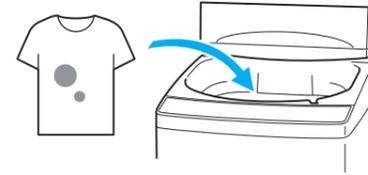
※風乾燥を設定した場合、予約洗濯はできません。

上手なお洗濯

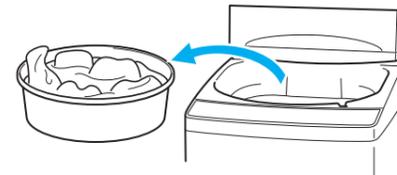
洗濯液を2度使う

1 1度目の洗濯物を入れて、「洗い」のみの運転を行う →P22-24

- 1度目の洗濯物は汚れの少ないものを洗い、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

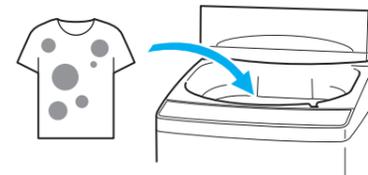


2 1度目の洗濯物を一時的に取り出す



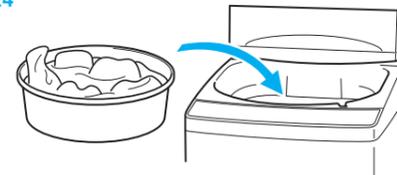
3 そのまま2度目の洗濯物を入れ、お好みのコースで運転する →P10-24

- 洗濯物が浮かないように上から押さえてください。
- 必要に応じて洗剤を追加してください。



4 お好みのコース運転終了後、2度目の洗濯物を取り出す (2度目の洗濯終了)

5 再び1度目の洗濯物を入れ「すすぎ」「脱水」のみの運転を行う (1度目の洗濯終了) →P22-24



風呂の残り湯を使う

1 電源を入れ、洗濯物を入れる

2 コース・行程を選択し →P10-24

3 給水が始まったら一時停止し、風呂の残り湯を入れる

- 市販の風呂水用ポンプをお使いいただくと便利です。

4 ふたを閉めスタート/一時停止ボタンを押して運転を再開する

のりづけ のりづけできる量：0.5kg以下

1 電源を入れ、のりづけしたい衣類を入れる

2 標準コースにて「洗い」のみ「水量12L」に設定する →P22-24

3 スタート/一時停止ボタンを押して運転(給水)する

4 洗濯が始まりパルセーターが回り始めたら一時停止し、洗濯のりを入れる

- のりの量は、洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

5 ふたを閉めスタート/一時停止ボタンを押して運転を再開する

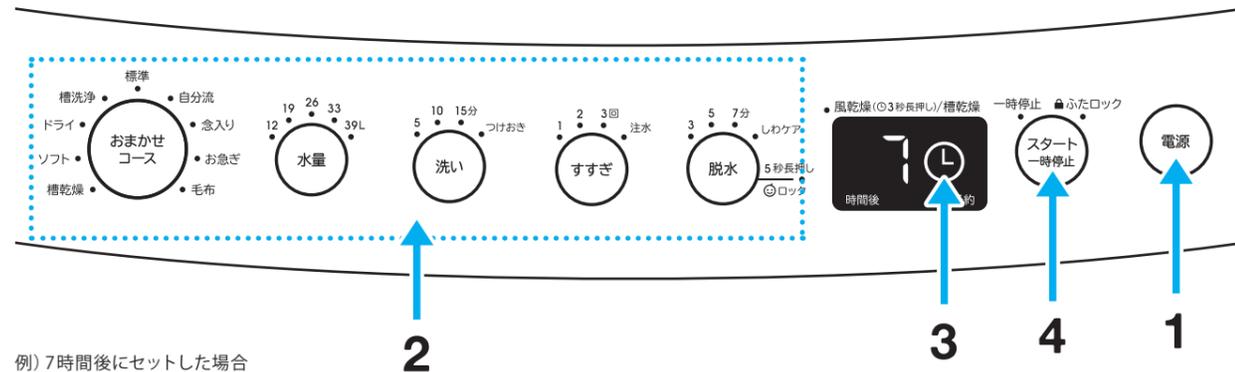
6 「洗い」のみ終了後「脱水」のみを設定しスタート/一時停止ボタンを押して運転する

! のりづけ後は、水量39Lにて「洗い」のみおよび「脱水」のみの運転を行い洗濯・脱水槽を洗浄してください。

のりが残っていると、故障の原因になります。

予約洗濯

予約タイマー運転



例) 7時間後にセットした場合

1 水栓を開き **電源** を押す

2 洗濯物・洗剤を入れ、**お好みのコース・行程を設定する** →P10-24

● 槽乾燥、槽洗浄コースは予約タイマー運転ができません。

※『標準』コースで予約洗濯を行う場合、布量検知は行いません。布量に合わせて「水量」を設定してください。(設定しない場合は、39Lに設定されます。) →P9, 10

3 **時計** を押して洗濯終了時間をセットする

● 押すごとに1時間単位で、2~24時間後までの設定ができます。



4 **スタート/一時停止** を押す

● 設定したコース・行程が消灯します。

※ふたを閉めない場合は、予約運転を開始しません。
※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

5 運転終了

● 洗濯の終了をブザーでお知らせし、自動的に電源が切れます。

セットした内容を…

確認するには？

予約タイマー運転中に『予約タイマー/風乾燥』ボタンを押します。セットしたコース・行程が約5秒間表示されます。

取り消すには？

『電源』ボタンを押して電源を切ってください。

変更するには？

電源を入れ直してもう一度セットし直してください。

❌ 色移りしやすい衣類は一緒に洗濯しないでください。

❗ お急ぎコースはすすぎ1回設定のため、すすぎ1回の設定を推奨されている洗剤をご使用ください。

❌ 予約タイマー運転には粉石けんを使わないでください。溶けにくく固まるおそれがあります。

❌ 濃縮タイプの柔軟剤は2倍の量の水で薄めてから使用してください。また、柔軟剤を長時間(約12時間以上)入れたままにしないでください。固まるおそれがあります。

❗ 予約タイマー運転中にふたを開けると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。

ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

知っている则便利

ふたロックについて

安全のためにすすぎ以降の行程では自動的にふたがロックされます。



❌ ふたロックランプが点灯中は無理にふたを開けないでください。破損・故障の原因になります。

❗ ふたが開いた状態で脱水運転に入るとエラー「E2」が表示され運転を停止します。ふたを閉めると運転が再開されます。

ふたロックを解除するには

運転中のとき

● スタート/一時停止ボタンを押して一時停止させると、約10秒後にふたロックが解除されます。(ふたのロックがかかっているときに、電源プラグを抜いたり停電になるとロックがかかったままになります。運転終了後に電源プラグを抜くときは、ふたロックランプが消えたのを確認してから電源プラグを抜いてください。)

● ふたロック中に電源ボタンを押して電源を切った場合も約10秒後にふたロックは解除されます。

電源が入っていないとき

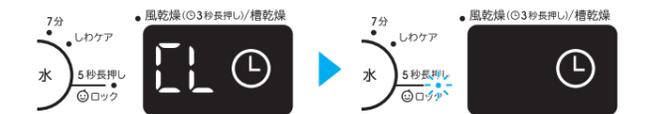
● 電源を入れるとふたロックが解除されます。(ふたのロックがかかっているときに、電源プラグを抜いたり停電になるとロックがかかったままになります。運転終了後に電源プラグを抜くときは、ふたロックランプが消えたのを確認してから電源プラグを抜いてください。)

チャイルドロック

子供による誤動作や勝手にふたを開けてしまい洗濯・脱水槽内に閉じ込められるのを防ぐため、ふたにロックをかけると共にボタン操作をできないようにします。

1 **脱水** を約5秒間押す

● “ピッピッピ”と電子音が鳴り [] と表示されたのち、チャイルドロックのランプが点灯します。



2 コースを選択してから **スタート/一時停止** を約5秒間押す

● ふたにロックがかかり、ふたロックランプが点灯し、電源の「入」「切」およびチャイルドロックの解除以外の操作が無効になります。

チャイルドロックを解除するには

● 脱水ボタンを約5秒間押すと、“ピッピッピ”と電子音が鳴りチャイルドロックが解除されます。

※チャイルドロックは上記の操作を行って解除するまで電源を切っても解除されません。

※『標準』コースの布量検知(ファジープログラム)を行う場合は、洗剤投入後に運転を開始してからチャイルドロックを設定してください。

終了音を消す

運転終了をお知らせする「終了ブザー」が鳴らないように設定することができます。(初期設定は「終了ブザー音有り」)

スタート/一時停止 を約5秒間押す (“ピッピッピ”と電子音が鳴る)

運転を開始させると終了ブザー音がなくなります。

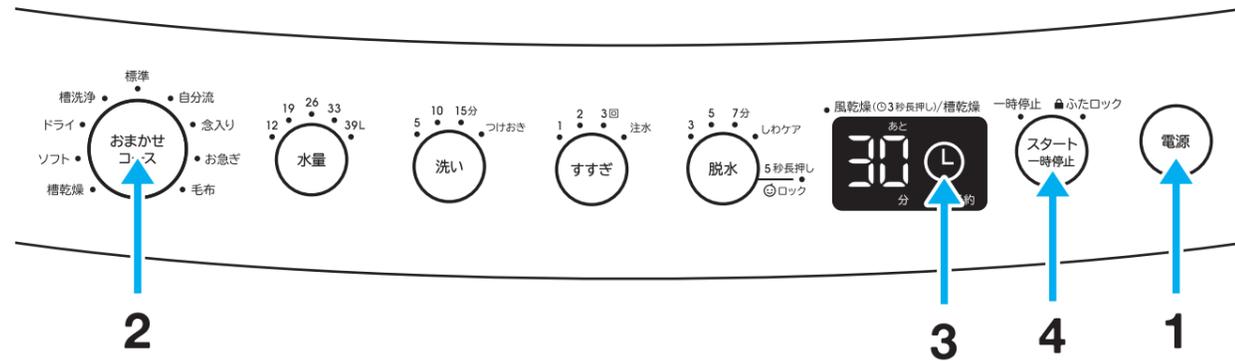
※運転終了後に自動的に「終了ブザー音有り」に戻ります。「終了ブザー音無し」の設定は再度行ってください。

※運転開始後に「終了ブザー音有り」を再度設定する場合は、一度電源を切って初めから洗濯設定をしてください。

お手入れ

洗濯・脱水槽を乾燥させる (槽乾燥コース)

1週間に1度を目安に洗濯・脱水槽の乾燥を行っていただくことで、黒カビの発生を抑えます。



1 電源を押す

- 水栓を開く必要はありません。

2 おまかせコースを押して『槽乾燥』を選ぶ

- コースランプの風乾燥が点灯するとともに、表示部左上の風乾燥ランプが点灯します。
- 予約運転はできません。

3 時計アイコンを押して槽乾燥の時間を選ぶ

- 30分 (30)、1時間 (60)、2時間 (2H)、3時間 (3H) の設定ができます。

4 ふたを閉め スタート一時停止を押す

- 運転を開始します。

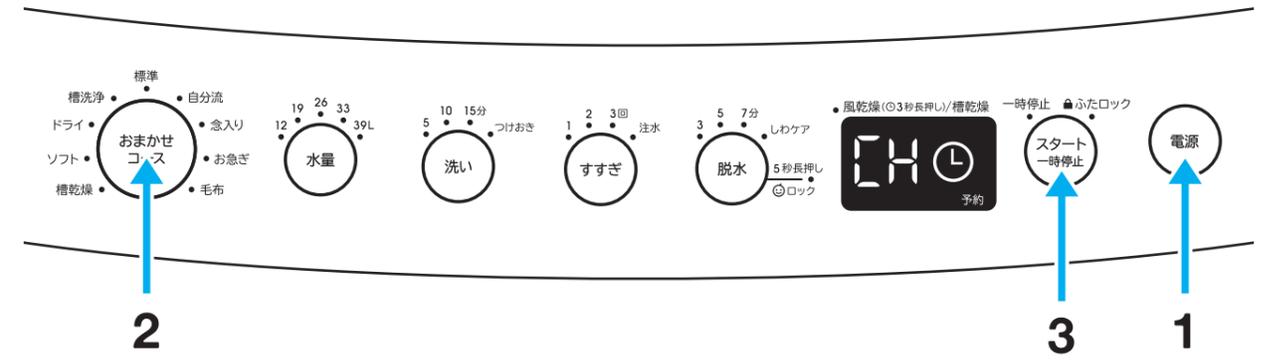
※ふたを閉めない場合は、槽乾燥を開始しません。
 ※ふたを開けたままにするとエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

5 運転終了

- 槽乾燥の終了をブザーでお知らせし、自動的に電源が切れます。

洗濯・脱水槽を洗う (槽洗浄コース)

長期間の使用により洗濯・脱水槽に汚れや黒カビが発生することがあります。
 2ヶ月に1度 (粉石けんを使用している場合は1ヶ月に1度) を目安に洗濯・脱水槽の洗浄を行ってください。



1 水栓を開き 電源を押す

- ⊘ 連続して槽洗浄運転を行わないでください。故障の原因になります。

2 おまかせコースを押して『槽洗浄』を選ぶ

- 残り時間表示が「CH」と表示されます。(12時間という意味です。)

- ⚠ 汚れのひどい場合や黒カビが発生してしまった場合は市販の洗濯槽クリーナーをご使用ください。洗濯槽クリーナーの説明書に従ってご使用ください。

3 スタート一時停止を押す

- 注水を始め、運転を開始します。

※ふたを閉めない場合は、槽洗浄運転を開始しません。
 ※ふたを開けたままにすると1分後にエラー「E2」が表示され警告音が鳴りますが、異常ではありません。ふたを閉めるとエラー「E2」表示および警告音は消えます。

ステンレス槽がさびていたら

市販のクリームクレンザーをスポンジにつけてさびを取り除いてください。

- 金属たわしなどは使用しないでください。洗濯・脱水槽を傷つけ、さびやすくなります。

さびの発生を防ぐために

- ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯・脱水槽に入れたままにしない。
- 赤さびや鉄粉などの混じった水を入れない。断水後は特にご注意ください。

4 パルセーターが回り始めたら市販の洗濯槽クリーナー (1回分)、または市販の塩素系漂白剤を約200ml入れる

- 酸素系漂白剤は使用しないでください。
- 通常の洗濯洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。
- 衣類は入れないでください。
- ふたは必ず閉めてください。

5 運転終了

- 槽洗浄の終了をブザーでお知らせし、自動的に電源が切れます。

お手入れ つづき

お手入れのしかた

揮発性のものは使わない

揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）を使用すると変形や割れが発生することがあります。



警告



安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

プラグを抜く 感電するおそれがあります。

本体

● よく絞ったやわらかい布で拭く

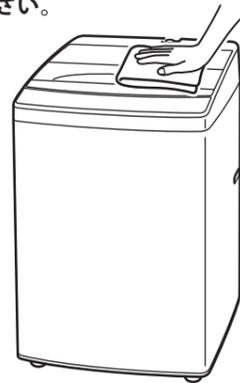
汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤で拭き取ってください。中性洗剤を使用したあとはよく水拭きをし、さらに乾いた布で拭いてください。



絶対に直接水をかけて掃除しないでください。

水ぬれ禁止 ショート・感電のおそれがあります。

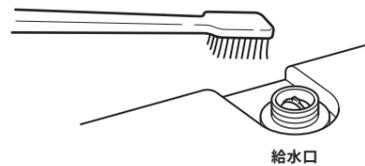
化学ぞうきんを使用する場合はその注意書に従ってください。



給水口

● 歯ブラシなどで汚れを取り除く

給水口にゴミがたまると水の出方が悪くなります。最低でも年に1度は、給水ホースを外し、給水口にたまったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。



給水口

糸くずフィルター

● 裏返してゴミを取り除く

汚れが落ちにくい場合は外して水洗いしてください。

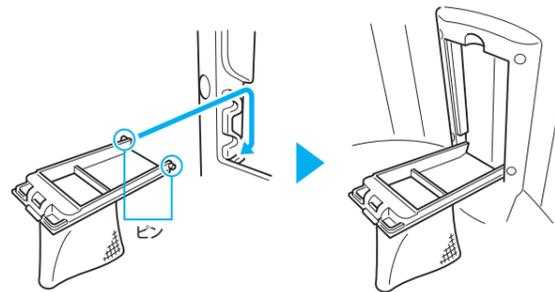
※糸くずフィルターは消耗部品です。ネットが破れた場合は、お買上げの販売店でお買い求めください。
→裏表紙



糸くずフィルター

糸くずフィルターの取り付けかた

矢印のように糸くずフィルターの左右のピンを差し込み、取り付けを行ってください。（取り外しは逆の手順で行ってください。）



ピン

電源コード・プラグの安全点検

- 電源コードに亀裂やすり傷がありませんか？
- 電源プラグがコンセントに根本まで確実に差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃および刃の取付け面にホコリが付着していませんか？

凍結のおそれがあるときは

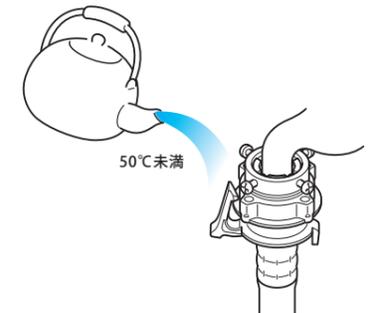
● 凍結させないために

- 1 水栓を閉める
- 2 『洗い』の運転を行い、給水ホースの水を抜く
10秒程度運転してください。
給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。
- 3 『脱水』の運転を行い、洗濯・脱水槽の残水を排水する
- 4 給水ホースの水栓蛇口側を外して、ホース内の残水をバケツなどに排水する



● 凍結してしまったときは

- 1 給水ホースの接続部（水栓側と本体側）に50℃未満の温水をかける
床がぬれて困る場合は、蒸しタオルで包んでください。



50℃未満

- 2 給水ホースを外し50℃未満の温水につける
水が飛び散る場合がありますので、タオルなどをあてて外してください。
- 3 洗濯・脱水槽に50℃未満の温水を約1L入れ、10分間放置する
- 4 給水ホースを接続し、水栓を開けて運転し、給水と排水ができるか確認する

据え付け

- ❗ 下記のとおり設置・取付けをしない場合に生じた事故・損害について当社は一切責任を負いません。
- ❗ 洗濯機用防水パンの上に洗濯機を設置してください。それ以外の場所へ設置する場合は床をぬらすおそれがありますので、市販の「洗濯機トレー」をご使用ください。気温と水温の差が大きいと本体の内側に結露（露つき）が発生します。この結露や水はねで床面をぬらすことを防止するためです。
- 🚫 据え付け前は電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- ❗ 給水ホース・マジックつぎ手は、必ず付属品または当社専用のものを使用してください。
- ❗ 据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや異常音が発生しないか確認してください。

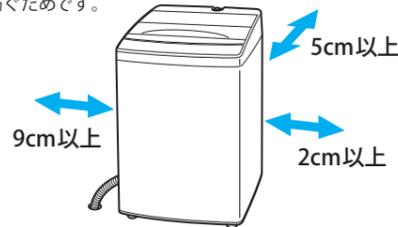
据え付けについて

据え付け場所

- 床が丈夫で水平なところ
- 湿気の少ないところ（浴室には絶対に据え付けしないでください。）
- 冬期に凍結のおそれのないところ
- 給水・排水の便利なところ
- 雨・直射日光のあたらないところ

本体は排水ホース側を9cm以上、反対側は2cm以上、裏側は5cm以上壁から離してください。

異常な振動や音を防ぐためです。



水平に設置する

- 1 水準器またはおもり（5円玉など）を付けた糸を図のように下げて、水平度を確認する



- 2 水平でないときは、前側2ヶ所の高さ調整脚を回して調整する



- 3 洗濯機の対角を押さえて、がたつきがないか確認する

アースについて



必ずアースをしてください
故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

次の場所にはアース線を接続しないでください。

- ガス管（爆発や引火の危険性があります。）
- 水道管（プラスチックの部分があり、アース効果がありません。）
- 避雷針・電話のアース線（落雷のときに大電流が流れ危険です。）

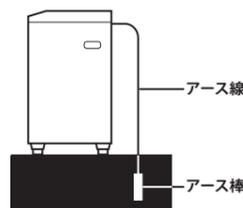
コンセントにアース端子がある場合

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。



コンセントにアース端子がない場合

安全にご使用いただくため、D種（第3種）接地工事が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。（接地工事は電気工事士の資格が必要です。）



排水ホース

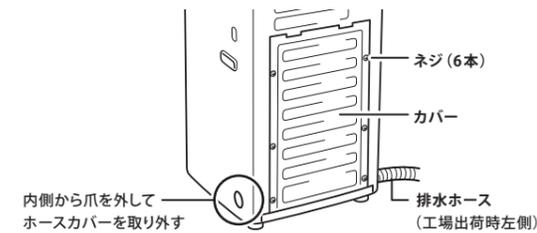
工場出荷時は排水ホースが左側にセットされています。右側に付け換える場合は、下記手順で付け換えてください。



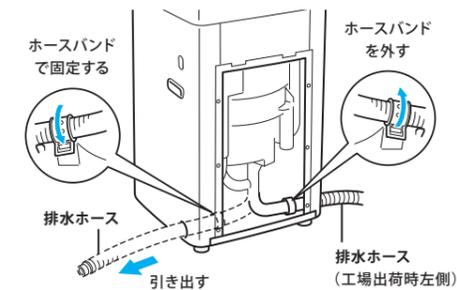
排水ホースの付け換え時は必ず手袋をする
けがをするおそれがあります。

付け換える場合

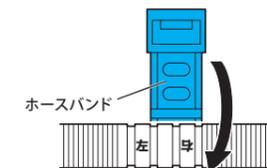
- 1 背面についているネジ6本を外してカバーを取り外し、ホースカバーを外す
鉄板で手を切らないようご注意ください。



- 2 ホースバンドを外し排水ホースを付け換える
付け換え後は、ホースが床についたり、洗濯槽が引っ張られないようご注意ください。



ホースバンドの固定について



ホース左出し（背面から見て右）の場合
※工場出荷時
「右」の文字が正しく読めるようにホースバンドを排水ホースの溝に合わせる。



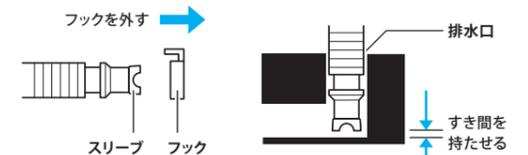
ホース右出し（背面から見て左）の場合
「左」の文字が正しく読めるようにホースバンドを排水ホースの溝に合わせる。



※排水ホースの付け換えを行った場合、取り付け位置がずれていると、「E3」エラーが発生する場合があります。

排水口に差し込む

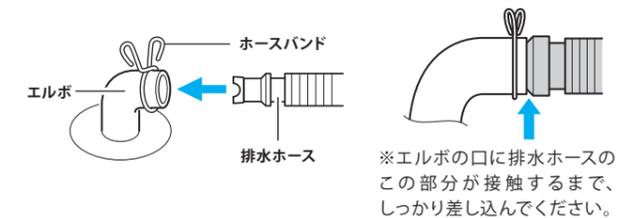
排水ホース先端のフックを外し排水口に差し込む
排水スリーブは、排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間を持たせるためのものです。必ず取り付けでご使用ください。



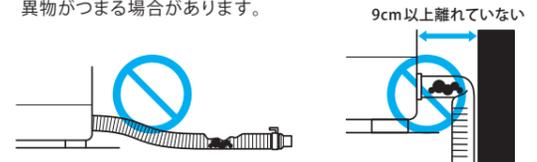
※排水ホースは排水時の水の力や振動などで動くことがあるため、排水口にしっかりと差し込み抜けないことを確認してください。

排水口がエルボの場合

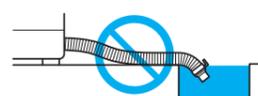
排水ホースの先端部をエルボにしっかりと差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。



- ❗ ホースをつぶさないようにしてください。
異物がつまる場合があります。



- ❗ ホースの先が下水口の水につからないようにしてください。



- ❗ ホースのこすれに注意してください。



▶ 次ページへつづく

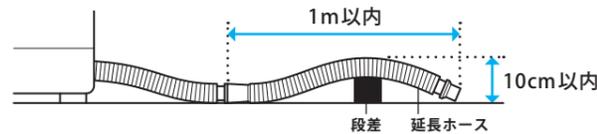
据え付け つづき

排水ホース つづき

ホースを延長する場合

- お買い上げの販売店で「排水ホース延長キット」をお買い求めください。→裏表紙
- 排水ホースの長さ・敷居を越える場合の高さは下表に従ってください。

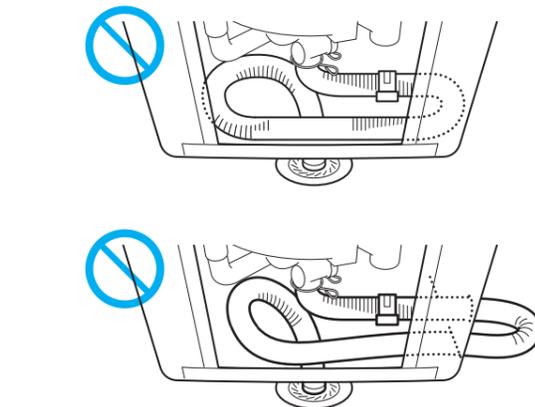
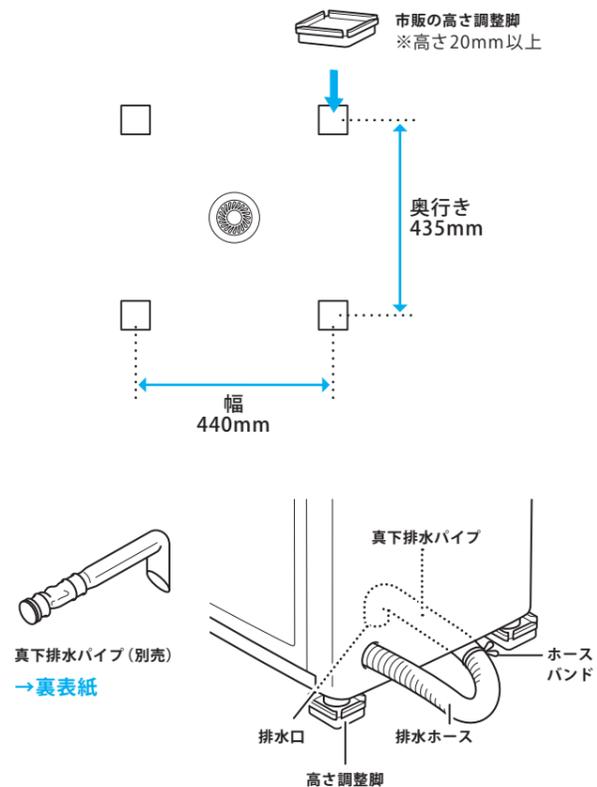
ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	10cm以内	1m以内
途中で高くない場合	—	3m以内



排水口が本体の真下にある場合

- 別売の真下排水パイプと市販の高さ調整脚をお買い求めください。

※取り付け方法は、それぞれ別売部品の説明書に従ってください。



- ⊘ 本体下の排水口に直接排水ホースを接続することは、内部の回転部品に接触し、ホースの破れや異常音の原因になりますので絶対におやめください。
- ⚠ 洗濯機用防水パンのエルボが有る場合、エルボを取り外して真下排水パイプをご使用ください。

給水ホース

- ⚠ 給水ホース、マジックつぎ手は、付属品または当社専用のものを使用してください。
- ⚠ 水栓にはマジックつぎ手が使えるものと使えないものがありますので、ご注意ください。
- ⚠ 取り付け後に必ず水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水漏れがないか確認してください。水漏れするときは、始めからやり直してください。
- ⊘ 給湯機設備には取り付けないでください。
- ⚠ 長期間の使用により水漏れした場合は、もう一度始めから取り付け直してください。それでも不具合のある場合は、マジックつぎ手を交換してください。

step 1 水栓の形状を確認する

横水栓		○		step 2 ▶ 3 ▶ 4
角口栓		△		
オートストッパー水栓 (洗濯機用)		○	給水ホースを直接取り付けできます。付属のマジックつぎ手は使用しません。	step 2 ▶ 4
万能ホーム水栓		×	別売の給水栓ジョイント (CB-J6) を取り付けてください。 →裏表紙	step 2 ▶ 4
自在水栓		×	別売の給水栓ジョイント (CB-J6) を取り付けてください。 →裏表紙	
カップリング横水栓 ワンタッチ水栓		×	別売の給水栓ジョイント (CB-J6) を取り付けてください。 →裏表紙	

- 給水栓ジョイント (CB-J6) を取り付け場合は、付属のマジックつぎ手は使用しません。直接、給水ホースを取り付けてください。
- 水栓が合わないときは、お買い上げの販売店、水道工事店、またはお客さま総合ご相談窓口にご相談ください。

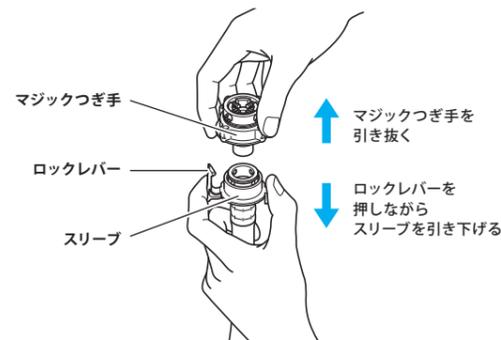
▶ 次ページへつづく

据え付け つづき

給水ホース つづき

step 2 取り付け前の準備

スリーブを引き下げて、
給水ホースからマジックつぎ手を外す
ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げて、
マジックつぎ手を外してください。

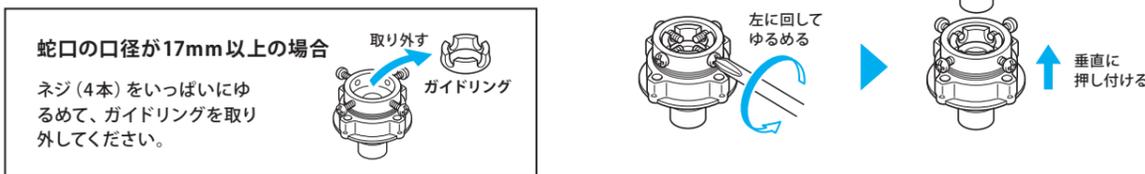


step 3 マジックつぎ手の取り付け

1 すき間を約4mmにする
鉄板で手を切らないようご注意ください。



2 ネジをゆるめ、蛇口に押し付ける
マジックつぎ手のネジ(4本)をゆるめて、蛇口に垂直に押し付けてください。

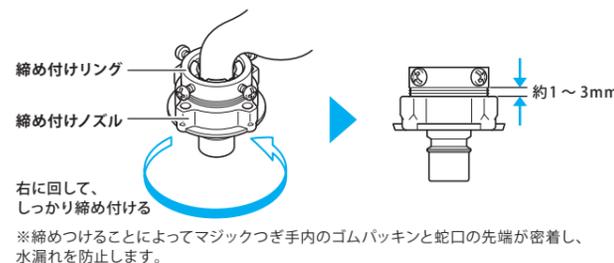


3 ネジを均等に締め付ける
蛇口が中心になるように、ネジ(4本)を均等にしっかり締め付けてください。



4 締め付けノズルを矢印の方向に回し、しっかり締め付ける

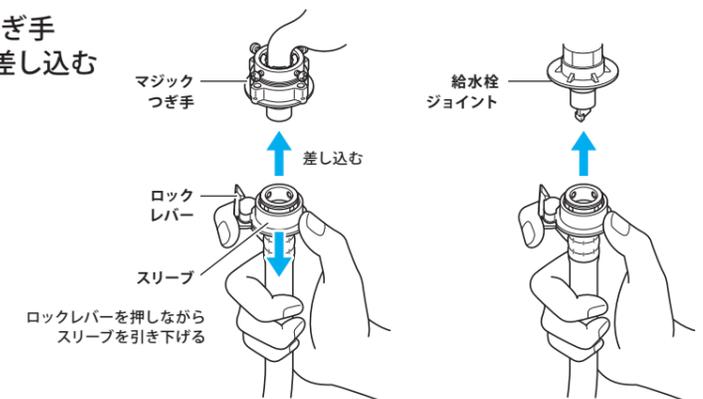
締め付け後、締め付けリングと締め付けノズルのすき間が約1~3mmになっていることを確認してください。



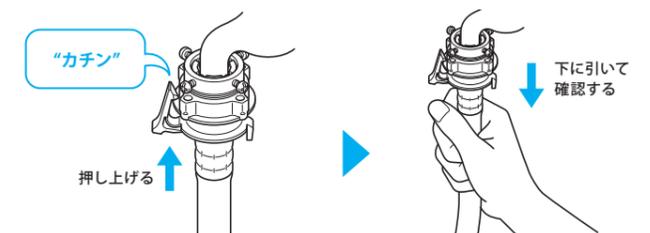
step 4 マジックつぎ手の取り付け

給水ホースを延長する場合は、お買上げの販売店へご相談のうえ、別売の給水延長ホースをお買い求めください。→裏表紙

1 スリーブを引き下げて、マジックつぎ手(給水栓ジョイント/オートストッパー水栓)に差し込む
ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げて、マジックつぎ手に差し込んでください。



2 スリーブを離して“カチン”と音がするまで押し上げる
取り付け後、給水ホースを下に引いて、確実に取り付けられているか確認してください。



3 給水口ナットを給水口にしっかり締め付ける



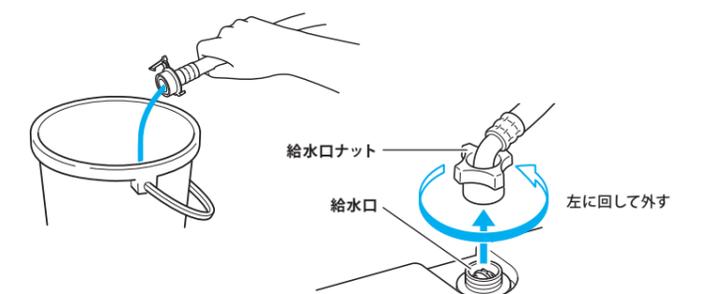
給水ホースを取り外す場合 水栓を閉めるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

1 水栓を閉める

2 『洗い』の運転を約10秒間行う
給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 給水ホースの水栓(蛇口)側を外して、ホース内の水をバケツなどに排水する

4 給水ホースの給水ナット(本体側)を外す



故障かなと? 思ったら

下記の症状は故障ではありません。

こんなとき	おたしかめください(原因)	
本体	運転しない	● 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでいますか。 ● 電源が入っていますか。 ● スタート/一時停止ボタンは押しましたか。 ● 予約中ではないですか。 ● ふたは閉まっていますか。 ● 水栓を開いていますか。 ● 停電ではありませんか。 ● ご家庭の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源を切っても操作パネル部にぬくもりを感じる	● 部品の放熱作用によるものです。
	運転中の振動、音が大きい	● 本体の据え付けが正しく行われていますか。→P32 (水平に設置する)
洗い・すすぎ・脱水	給水前にバルセーターが回転する	● 洗濯量(布量)を検知しているためです。→P09 (布量検知)
	少ない水量でバルセーターが回転する	● 洗いの前に高濃度洗浄を行っています。
	途中で給水する	● 水量や洗濯物状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能が働いているためです。 ・洗濯物をあとから追加した。 ・水量が減り、それを補う機能が働いた。 ・洗濯物の布回りをよくする機能が働いた。 ● 高濃度洗浄中は、水を追加しながら洗います。(高濃度の洗濯液を衣類にしみこませるため、少ない水量からかくはんを始め、水を追加しながら洗います。)
	注水すぎなのに排水ホースから水が出ていない	● 水圧が低いときや設定水量が低いときは、排水しないことがあります。
	注水すぎなのにためすぎになる	● 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすぎになります。
	すすぎからスタートすると給水しない	● 排水→脱水をしてから、すすぎの給水を始めます。
	水漏れ	● 水栓の形状は適していますか。→P35 ● マジックつぎ手のネジやノズルがゆるんでいませんか。→P36 ● 給水口ナットの締め付けがゆるんでいませんか。→P37 ● 給水口にゴミが詰まっていますか。→P30 ● 排水ホースがはずれていませんか。→P33
	すすぎ(給水)を繰り返す	● 洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
	洗い後の脱水途中でためすぎが追加される(給水する)	● 洗濯量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない(脱水の回転が上がらない)ときは、ためすぎを追加します。→P34 (排水ホースを延長する場合)
	始めから高速で脱水しない	● 脱水を効果的に行うために、徐々に回転をあげる運転をします。
	風乾燥	● 布類の種類、量、室温、湿度などにより乾きくあいが変わります。 ● 設定時間になると、乾きに関係なく終了します。乾き不足時は追加乾燥してください。→P18 ● 化繊の衣類を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 ● 脱水が不十分な衣類や化繊以外の衣類が混ざっていませんか。
	水量	● 水量は、洗濯量で決まります。 化繊が多いときには水量を少なく表示したり、ぬれた洗濯物を入れたときには多く表示することがありますが、故障ではありません。→P09 (布量検知) 水量を調節したいときは手動で水量を設定してください。→P22
脱水	すすぎ前の排水・脱水時間が長い	● 泡立ちを抑え、すすぎ性能をよくするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。
	洗濯時間が長い/残り時間表示が途中で変わる	● あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。 ● 所要時間は、水道水圧、排水、脱水状態により変わることがあります。
音	洗濯・脱水槽をゆらすと「シャー」「チャブチャブ」と音がする	● 脱水の振動を抑えるために入れてある液体の音です。
	脱水中に一時停止すると「カタカタ」と音がする	● 急ブレーキが働いた音です。故障ではありません。
	異常音がする/振動が大きい	● 洗濯機の据え付けが傾いていたり、がたついたりしていませんか。→P32 ● マッチ棒やヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか。 ● 電源コードやアース線、給水ホースのたるみが洗濯機に当たっていませんか。(脱水の振動で音が大きくなる場合があります。)

こんなとき	おたしかめください(原因)	
その他	異臭がする	● 排水口にたまった汚れのにおいが逆流することがあります。 集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体や洗濯物ににおいが付くことがあります。 ・定期的に排水口の掃除をしてください。 ・臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。 ● 洗濯・脱水槽内に付着している石けんカス・黒カビなどでおこることがあります。 ・槽洗浄をしてください。→P29 ・普段使わないときは、ふたを開放して風通しをよくしてください。
	初めて使用するときに排水ホースから水が出る	● 工場の性能テスト時の残水です。故障や不良ではありません。
	衣類が黄変する	● 水道水のさび、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤や還元型漂白剤をご使用ください。
	糸くずの付着が気になる	● すすぎ回数を増やしたり、注水すぎをお勧めします。 ● 水量を多めに設定してください。 ● 糸くずフィルターをお手入れしてください。 ● その他→P06 (衣類の準備)
	洗濯の途中なのに運転が止まってしまった	● ふたは閉まっていますか。 ● 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 ● お好みの設定方法を間違えていませんか。 ● 槽洗浄中ではありませんか。(11時間つけおきをします。) 以上の原因でないときは、「こんな表示が出たら」をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。
ふたが開かない	● ふたロック機能が働いていませんか。→P27 ● チャイルドロックが設定されていませんか。 表示に「CL」と出ている場合はチャイルドロックを解除してください。→P27	
運転中にふたがきちんと閉まらない	● 本体のふたロック部(P4) のつめが飛びだしていませんか。 スタート/一時停止ボタンを押してふたロックを解除してください。→P27 ふたロック解除後にふたをきちんと閉めてから運転を再開してください。	

こんな表示が出たら

表示(内容)	おたしかめください(原因)
E1 (排水しない)	● 排水ホースを排水口に差し込んでいますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。→P33 ● 排水ホースの口がふさがれていませんか。→P33 ● 排水ホースの先端が水につかいていませんか。→P33 ● 排水の位置が高くなっていませんか。→P34
E2 (途中で止まる)	● ふたは閉まっていますか。→P10,P11,P12,P13,P14,P15,P18,P19,P21,P22,P26,P27,P28,P29 ● 予約タイマー運転時に、ふたを開けていませんか。→P26
E3 (脱水しない)	● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 洗濯・脱水槽の排水口に異物が詰まっていますか。 ● 本体の据え付けが正しく行われていますか。→P32 (水平に設置する) ● 排水ホースの付け換えを行った場合、取り付け位置がずれていると、「E3」エラーが発生する場合があります。→P33
E4 (給水しない)	● 水栓を開いていますか。 ● 給水ホース接続口の網にゴミなどが詰まっていますか。→P30 ● 凍結していませんか。 ● 断水していませんか。 ● 水道水圧が低くありませんか。
FR	● 水位(水量)センサーに異常があります。
FB	● ふたロック機能が正常に働いていません。 ● ふたが完全に閉まっていますか。 ● ふたロック部にボタンや硬貨が詰まっていますか。→P04 ● ふた側のロック部品が破損していませんか。 ● 一度電源を切って、電源プラグを抜き差ししてください。
CL	● チャイルドロックが設定されているため、ふたがロックされボタン操作ができません。 チャイルドロックを解除してください。→P27

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容の表示を本体に行っています。

<設計上の標準使用期間とは>

●標準的な使用条件(右表)の下で使用した場合に、安全上支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。(消費法第32条の3)

●メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

<経年劣化とは>

●長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

<ご注意ください>

●本製品を右記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けましょう。

●具体的な点検時期は、相談窓口にお問い合わせください。

●製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、右記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用期間の到来前に経年劣化等による重大事故発生のおそれが高まる場合がございますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

仕様

種類	家庭用全自動電気洗濯機
電源	AC 100V 50-60Hz共用
洗濯・脱水容量	4.5kg(乾燥布質量)
風乾燥容量	2.0kg(乾燥布質量)
洗濯方式	うず巻式
定格消費電力	215W / 285W (50Hz/60Hz)

※家庭用品品質表示法による表示(高さは給水ホースのつぎ手、幅は排水ホース、奥行は突起物などを含む最大寸法)

- 製品の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されています。日本国外では使用できません。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

理容院、美容院、ホテル、病院や寮など一般家庭に比べて1日の使用回数が多い場合は、短期間で部品(モータ、軸受けなどの機構部品)の交換が必要になることがあります。耐久年数も減少します。このようなご使用の場合は保証期間の対象になりません。販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをお勧めします。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります

	【設計上の標準使用期間】7年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
---	---

標準的な使用条件 日本工業規格 JIS C 9921-4による

区分	項目	条件
環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20℃±15℃
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年

使用水道水圧	0.03 ~ 1MPa (0.3 ~ 10kgf/cm ²)
標準水量	39L
標準使用水量	76L
外形寸法※	幅526 × 奥行き500 × 高さ888mm
質量	25.2kg
電源コード	1.9m

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間(本体)

ただし、糸くずフィルターなどの消耗品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

修理を依頼されるとき

P38、39の表に従ってお確かめください。それでも異常がある場合はご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店へご連絡ください。なお、衣服の補償など製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、この洗濯機の補修用性能部品を製造打切後6年保有しております。(注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げの販売店へ

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。転居や贈答品でお困りの場合は、下記のご相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談

総合相談窓口：

固定電話からは  **0120-865-812**
携帯電話・PHSからは  **0570-020-812**(有料)
受付時間 365日 9:00 ~ 18:30

FAXでご相談される場合  **0570-013-791**(有料)

商品の修理サービスについてのご相談

修理相談窓口：

固定電話からは  **0120-982-540**
携帯電話・PHSからは  **0570-010-540**(有料)
受付時間 月曜日 ~ 金曜日 9:00 ~ 18:30
土曜・日曜・祝日 9:00 ~ 17:30

※上記のご相談窓口の名称・電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

“お客さまご相談窓口”における個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けしたお客さまのお名前・ご住所・お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り第三者への開示は行いません。(業務委託の場合および法令に基づき、必要とされる場合を除く。)

●お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わること相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールジャパンセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

●上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。